

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010300		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	土地利用規制等対策事業	予算事業名	土地利用規制等対策事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至	担当者名	宇久 勝志
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		国土利用計画法・公有地の拡大の推進に関する法律等					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	土地取得者・土地を有償で譲り渡そうとする当該土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	総合的で計画的な国土利用を図る。また、必要な土地の先買いを行い、公有地の拡大の計画的な推進を図り、もって地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		一定面積以上の土地取引において、買主から出された「土地売買等届出」を受理し、県に進達する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	国土法届出件数	件	3	4	1	3	
	公拡法届出件数	件	1	0	0	0	
	用地取得面積	m ²	0	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.420	0.400	95	0.292	73	0.292	100	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	3,631,284	3,396,536	94	2,561,934	75	2,669,241	104	
	事業費	2,000	4,560	228	2,000	44	5,000	250	
	合計	3,633,284	3,401,096	94	2,563,934	75	2,674,241	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		5,000	-	8,000	160	5,000	63	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,633,284	3,396,096	93	2,555,934	75	2,669,241	104	
合計	3,633,284	3,401,096	94	2,563,934	75	2,674,241	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		届出件数の増減							
指標説明(式)		国土法届出件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	3	4	133.3	1	25.0			
指標名2		届出件数の増減							
指標説明(式)		公拡法届出件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	1	0	0.0	0	-			

【効率性】

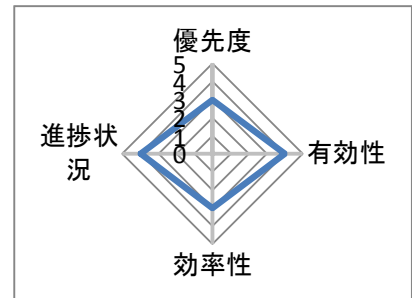
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	法令上の届出基準を遵守し、届出等の受理を行った。	4
効率性	執行体制の 効率性	速やかに届出等を受理し、県に送付を行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公拡法による届出、申出事務が平成24年度より市に権限移譲されたが、届出件数はほとんどない状況である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の 効率性	国からの受託事務のため、届出見込がなくても執行体制は整えておく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の 効率性	国からの受託事務のため、届出見込がなくても執行体制は整えておく必要がある。公拡法の届出は、H24度より県から市へ権限移譲された。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010400	事業の種類	3
年度	25	事務事業名	都市計画基礎調査事業	予算事業名	都市計画基礎調査事業 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田 雅仁
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		担当者名	齊藤 誠
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		都市計画法第6条(県からの協力要請)			
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画に必要な事項に関する基礎資料として都市の状況を把握するため調査をする。			
	誰(何)を対象として	都市計画区域の人々			
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市の現状、都市化の動向等を正確に把握し都市計画の決定、変更を行うための基準となる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県都市計画基礎調査要綱に基づき、人口規模、就業人口の規模、市街地の面積、世帯数及び住宅戸数、住宅の規模、建築物の用途、構造、建築面積及び延べ面積等について項目を5年に分けてに調査し、6年目には当初の項目に戻って調査を繰り返している。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	都市計画基礎調査	件	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.844	0.844	100	0.844	100	0.844	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	6,978,764	6,825,992	98	6,805,158	100	7,102,353	104	
	事業費	5,120	44,037	860	55,106	125	108,000	196	
	合計	6,983,884	6,870,029	98	6,860,264	100	7,210,353	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	337,000	337,000	100	337,000	100	337,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,646,884	6,533,029	98	6,523,264	100	6,873,353	105	
合計	6,983,884	6,870,029	98	6,860,264	100	7,210,353	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県からの委託状況							
指標説明(式)		委託料							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	280000	330000	117.9	337000	102.1	337000	100.0	
	実績	337000	337000	100.0	337000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

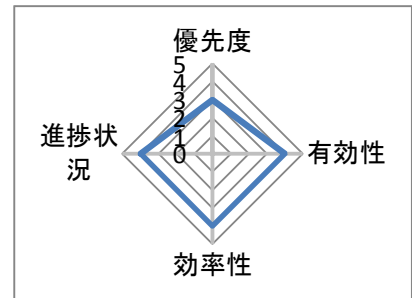
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令で義務付けられている事務事業。	4
	上位施策への貢献度	この調査は、県が主体となるが、しいては本市の将来の都市計画を見直す際の基礎資料となるため十分有効活用が図られている。	
効率性	コストの節減	図面等については、近年徐々に改善され、県のシステムにてWeb入力し、メディアによる提出が不要となり、コスト縮減に努められている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	この調査は、県の調査委託に基づき実施しているが、事業量から評価すれば市の負担は大きいと思うが、市においてもこの資料を使い都市計画の決定、亦更に活用しているため課題はあまるものではない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事務費(旅費・需用費)の縮減。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101010500		事業の種類		1	
年度	25	事務事業名	屋外広告物取扱事業	予算事業名	屋外広告物取扱事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田 雅仁	担当者名	粟谷 崇
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		屋外広告物法、兵庫県屋外広告物条例、兵庫県屋外広告物条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	屋外広告物掲出者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	屋外広告物の掲出に必要な規制を行い、街の美観・風致を維持しつつ安全性を高め、市民の安全かつ快適な生活の維持を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回(月4回)違法屋外広告物簡易除却事業を実施					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	除却件数	件	49	40	16	15	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.600	0.600	100	0.640	107	0.640	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	5,052,384	4,941,336	98	5,237,010	106	5,464,029	104	
	事業費	545,373	535,151	98	549,790	103	567,000	103	
	合計	5,597,757	5,476,487	98	5,786,800	106	6,031,029	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	4,889,700		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	226,000		0		-		-	
	一般財源	482,057	5,476,487	1.136	5,786,800	106	6,031,029	104	
	合計	5,597,757	5,476,487	98	5,786,800	106	6,031,029	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		除却件数の増減							
指標説明(式)		除却件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	140	50	35.7	40	80.0	15	37.5	
	実績	49	40	81.6	16	40.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

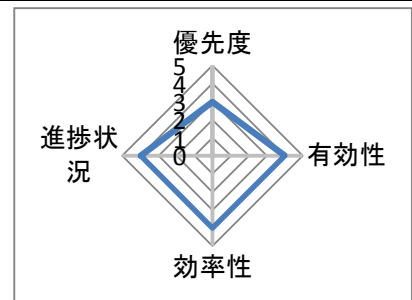
指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		除却件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.13	0.05	38.5	0.05	100.0	0.01	20.0	
	実績	0.04	0.03	75.0	0.01	33.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	除却件数は毎年異なるので単純に数値で比較できないが、違法広告物の除却を迅速に行うことで、市民生活の安全性と快適性が図られる。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	屋外広告物は、営業の自由と市民生活の景観や安全との関係上、公共の福祉の制約を受けるものであるから、両者の対立利益を調整する上で必要な施策である。	
効率性	コストの節減	除却件数は減少傾向にある。	4
	執行体制の効率性	他に類似する事務事業が無く、重なり合う事務事業が無いので、執行体制を変えてもコスト削減効果は期待できない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	県の委任事務につき現状維持。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	県の委任事務につき現状維持。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010600		事業の種類	6	
年度	25	事務事業名	東部土地区画整理事業		予算事業名	東部土地区画整理事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田 雅仁		担当者名	齊藤 誠
取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		東部土地区画整理事業(区画整理)					
根拠法規及び関連法規		土地区画整理法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者					
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	組合施行による土地区画整理事業の事業化の検討の指導等を準備委員会(土地所有者代表)に行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		組合施行による土地区画整理事業の事業化の検討の指導等を準備委員会(土地所有者代表)に行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	準備委員会等	回	0	0	0	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.008	0.012	150	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	378,544	399,624	106	409,574	102	420,561	103	
	事業費	0	10,240	-	0	0	21,000	-	
	合計	378,544	409,864	108	409,574	100	441,561	108	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	378,544	409,864	108	409,574	100	441,561	108	
	合計	378,544	409,864	108	409,574	100	441,561	108	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		準備委員会開催							
指標説明(式)		準備委員会開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

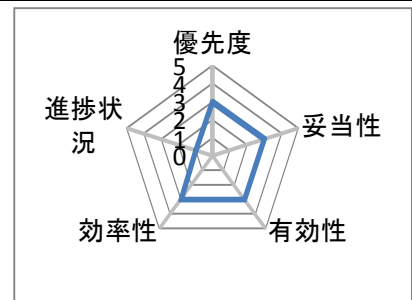
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業化の検討に当たっては、保留地処分が問題であり、地権者の事業化への「リスク」の理解を得ることが重要である。	3
効率性	手段の最適性	事業化への「リスク」の理解を得るため、地区ごとの会議の開催等の検討等が必要である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	休止中となっている。	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	事業化の検討に当たっては、保留地処分が問題であり、地権者の事業化への「リスク」の理解を得ることが重要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	事業化の検討に当たっては、保留地処分が問題であり、地権者の事業化への「リスク」の理解を得ることが重要である。

配点	32.5
総合評価	17.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101010700		事業の種類		1	
年度	25	事務事業名	特別指定区域事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田 雅仁	担当者名	齊藤 誠
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法第34条12号・兵庫県都市計画法施行条例8条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市街化調整区域の規制緩和のため「地縁者の住宅区域」を指定し集落周辺に10年以上居住したことのある地縁者であれば住宅建設が可能。					
	誰(何)を対象として	市土地利用基本計画に基づいて特別指定区域を定めた地区。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	平成18年5月に既存宅地制度が廃止されたことから、この代替施策を兼ねこの度の導入として市土地利用基本計画を策定し地縁者の住宅建設に対応した規制緩和を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地利用計画の策定・特別指定区域の指定(地縁者の住宅区域)					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	土地利用計画策定	件	0	0	0	0	
	特別指定区域の作成	件	0	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.044	138	0.044	100	0.044	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	568,024	646,792	114	655,558	101	677,553	103	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	568,024	646,792	114	655,558	101	677,553	103	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	568,024	646,792	114	655,558	101	677,553	103	
合計	568,024	646,792	114	655,558	101	677,553	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地元説明会開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1ha当たりのコスト							
指標説明(式)		当該年度事業費合計÷市街化調整区域の面積							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	法令及び条例等義務付けられている事務事業。	4
効率性	手段の最適性	基礎調査のデータ等の活用により特別指定区域の素案作成を効率的に行うことができる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

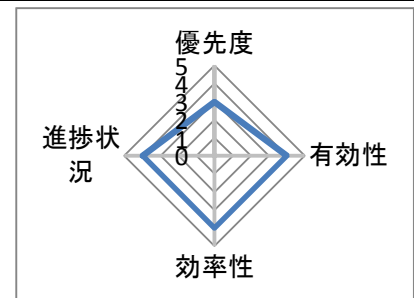
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	今後、特定区域の検討を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	今後、特定区域の検討を行う。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050101010800	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	地区計画決定事業
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	予算事業名	
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する	担当部局名	建設農林部都市整備課
取組み事項	計画的な都市空間を形成する	担当課長	高田 雅仁
		担当者名	國重・古川
		実施計画への記載	無
		主要事業の指定	無
実施計画事業名			
根拠法規及び関連法規	都市計画法		
事業の目的	誰のために(具体的に)	計画決定予定地区の権利者	
	誰(何)を対象として	区域内の道路、公園等の施設整備、建築物等に関する事項	
	意図(どのような状態にしたいのか)	道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定め良好な住環境の整備を行う。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	一体的な整備及び保全を図る区域について、主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定める。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績
	決定地区件数	件	0	0	0
					26年度計画

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.130	0.130	100	0.130	100	0.130	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,341,734	1,311,056	98	1,316,640	100	1,368,219	104	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	1,341,734	1,311,056	98	1,316,640	100	1,368,219	104	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	1,341,734	1,311,056	98	1,316,640	100	1,368,219	104	
	合計	1,341,734	1,311,056	98	1,316,640	100	1,368,219	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	地区計画決定件数									
指標説明(式)										
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考	
件	目標			-		-		-		
	実績	0	0	-	0	-		-		
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

指標名1		地区計画内容権利者協議時間							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	0	0	-	0	-			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	新市街地において地区計画決定を検討	
効率性	執行体制の効率性	決定内容の権利者の意向の掌握、合意形成が困難	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	

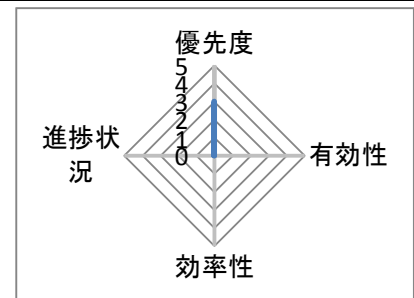
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	計画決定候補地が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	候補地の検討を行う。



配点	25
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010900		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	地籍調査事業		予算事業名	地籍調査事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	竹本 頼高		担当者名	長治 宏幸
取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名	地籍調査事業(システム含む)						
根拠法規及び関連法規	国土調査法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民 (土地の明確化により、公共事業及び土地取引等が円滑にできるようになり、個人資産の保全につながる)					
	誰(何)を対象として	土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	土地に関する権利の毎筆の所有者、地番、地目を調査し地籍を確定する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	土地に関する権利を各筆毎に所有者、地番、地目を調査し地籍を確定する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	地籍調査地区数	地区	4	4	3	3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104
	参事以下職員	2.060	2.032	99	1.980	97	2.072	105
	臨時職員	1.000	1.000	100	1.000	100	1.000	100
支出内訳	人件費	18,926,084	18,405,104	97	17,978,590	98	19,491,421	108
	事業費	18,215,045	9,042,492	50	11,982,650	133	15,572,000	130
	合計	37,141,129	27,447,596	74	29,961,240	109	35,063,421	117
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-
	県支出金	13,521,000	6,651,000	49	8,850,000	133	11,550,000	131
	市債	0		-		-		-
	その他	0		-	980	-	1,000	102
	一般財源	23,620,129	20,796,596	88	21,110,260	102	23,512,421	111
	合計	37,141,129	27,447,596	74	29,961,240	109	35,063,421	117

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	事業費								
指標説明(式)	事業費								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20155000	10945000	54.3	13805000	126.1	15572000	112.8	
	実績	18215045	9127902	50.1	11982650	131.3			
指標名2	進捗率								
指標説明(式)	地籍調査対象面積(優先的に地籍の明確化を図る地域)に対する進捗率								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	5.8	7.6	131.0	9	118.4	10.5	116.7	
	実績	5.8	7.6	131.0	9.1	119.7			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業目標は、達成している。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令等の意図と合致している。	
効率性	コストの節減	入札による削減が図られている。	4
	執行体制の効率性	事業委託により役割分担を行うことで、効率的におこなわれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

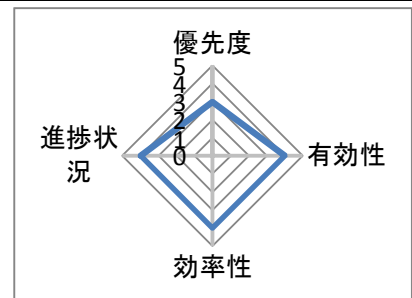
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	事業目標は達成しているが、全体計画からは遅れている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	全体計画通りの進捗を目指すためには、更なる事業費の追加と人員の確保が必要である。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011000	事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	都市計画議事運営事業	予算事業名	都市計画総務費事務経費 優先度 3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田 雅仁	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		担当者名	齊藤 誠	
		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		都市計画法77条の2第1項・相生市都市計画審議会条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画区域の人々				
	誰(何)を対象として	市の都市計画について				
	意図(どのような状態にしたいのか)	審議会を開催し、事案を諮問し答申を得る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		都市計画法によりその権限に属された事項を調査審議させ、及び市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査審議する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	都市計画審議会開催	回	0	0	0	3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.120	0.144	120	0.164	114	0.164	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,262,784	1,419,192	112	1,577,998	111	1,641,273	104	
	事業費	187,428	174,700	93	169,180	97	366,000	216	
	合計	1,450,212	1,593,892	110	1,747,178	110	2,007,273	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,450,212	1,593,892	110	1,747,178	110	2,007,273	115	
合計	1,450,212	1,593,892	110	1,747,178	110	2,007,273	115		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		都市計画審議会開催回数							
指標説明(式)		実施開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1	2	200.0	3	150.0	3	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		都市計画審議会1回当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費÷開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	55000	109000	198.2	122000	111.9	122000	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令及び条例等で義務づけられている事務事業。	5
	成果目標(改善)達成度	都市計画決定により計画的なまちづくりの推進が出来た。	
効率性	執行体制の効率性	平成20年第1回定例市議会において審議会委員の定数を14人から10人に削減し効率的に運営を図った。	5
	コストの節減	審議会委員の県外視察の廃止。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

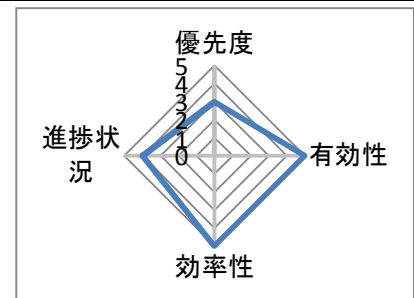
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	審議会の非公開から公開への移行。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	審議会議事運営要綱の施行(H18.7.28)に伴い審議会は、原則として公開する。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011100	事業の種類	3
年度	25	事務事業名	土地区画整理事務事業	予算事業名	土地区画整理事務経費 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する	担当課長	高田 雅仁	担当者名 齊藤 誠
取組み事項		計画的な都市空間を形成する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業実施者として、事業執行のための知識及び情報収集を行うことにより、事業の公平性、妥当性を図る。			
	誰(何)を対象として	事業実施者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	制度改正等に対応した適正な事業を執行するため。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		区画整理事業及び住環境整備事業遂行のための上部団体との情報交換				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	研修会等旅費	千円	14	11	3	16
	協議会等負担金	千円	29	35	32	69

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.000		-		-		-	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	315,384	306,936	97	317,330	103	324,189	102	
	事業費	43,040	46,440	108	34,560	74	85,000	246	
	合計	358,424	353,376	99	351,890	100	409,189	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	358,424	353,376	99	351,890	100	409,189	116	
合計	358,424	353,376	99	351,890	100	409,189	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	協議会等の負担金は、継続的であり前年度とほぼ同額である。	3
効率性	コストの節減	研修会への参加を最小人数で行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

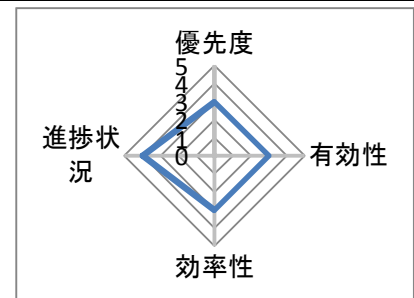
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	加入団体によっては、継続加入に必要性があるのかを再調査すべきである。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	継続して加入、参加すべきであった。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101020100		事業の種類		6	
年度	25	事務事業名	相生駅南土地区画整理事業	予算事業名	相生駅南土地区画整理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名 建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田 雅仁	担当者名	齊藤 誠
取組み事項		都市核を形成する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名		相生駅南土地区画整理事業					
根拠法規及び関連法規		土地区画整理法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者					
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用促進を図り、魅力あるまちづくりを行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用促進を図り、魅力あるまちづくりを行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	道路整備	m	0	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	1.000	1.012	101	1.032	102	1.032	100	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	8,210,384	8,123,624	99	8,250,314	102	8,612,181	104	
	事業費	25,917,306	113,726,324	439	56,283,770	49	41,756,000	74	
	合計	34,127,690	121,849,948	357	64,534,084	53	50,368,181	78	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	34,127,690	121,849,948	357	64,534,084	53	50,368,181	78	
合計	34,127,690	121,849,948	357	64,534,084	53	50,368,181	78		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路整備延長							
指標説明(式)		道路整備延長							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
m	目標	0	0	-	19	-	0	0.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

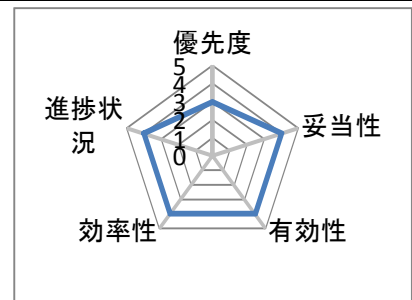
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	換地処分が完了し、精算事務も残りわずかとなった。	4
効率性	執行体制の効率性	平成19年度より課内の係員の減があったが、今年度も同じく執行体制の効率性を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ事業完了しているが、更に事業推進を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ事業完了しているが、更に事業推進を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101020200	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	相生駅南地区街づくり助成事業	予算事業名	相生駅南地区街づくり助成事業
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田 雅仁
取組み事項		都市核を形成する		担当者名	齊藤 誠
		実施計画への記載		無	主要事業の指定
		無		無	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の商業地区における土地及び建物の所有者			
	誰(何)を対象として	事業地内の商業地区において、要件を満たした建物を建築した場合に、その建築物及び敷地。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業地内の商業地区において、土地の有効利用を促進することにより、駅前の高度利用を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生駅南地区画整理事業区域内の商業地域内で、土地使用収益開始の日から5年以内に、「相生駅南地区建築行為等の遵守基準」に適合し、かつ地上4階建以上で1階から4階までの各階床面積が200㎡を超える建築物の所有者及び土地所有者に、対象建築物とその敷地と				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	助成金額	千円	22422	17626	9396	9410
	助成件数	件	31	5	2	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	441,704	430,520	97	440,322	102	452,685	103	
	事業費	22,422,000	17,626,000	79	9,396,000	53	9,410,000	100	
	合計	22,863,704	18,056,520	79	9,836,322	54	9,862,685	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	22,863,704	18,056,520	79	9,836,322	54	9,862,685	100	
合計	22,863,704	18,056,520	79	9,836,322	54	9,862,685	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成土地利用率							
指標説明(式)		(助成決定面積による)助成対象土地面積/駅南商業地全体面積(31,000㎡)×100 H21=(650+747+905+637)/31,000×100=9.5							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	9.5	9.5	100.0	9.5	100.0	9.5	100.0	
	実績	9.5	9.5	100.0	9.5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

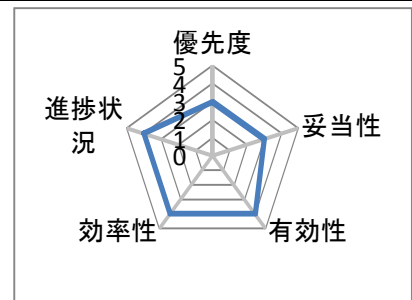
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	駅前地区の高度利用が図られつつある。	4
効率性	執行体制の効率性	助成対象となる土地の評価額等の動向を読み、今後の事業費の予測を的確に把握している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	上位施策への貢献度	大規模な建築物が建設されることにより高度化が図られた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	助成期限が終了し、助成対象となる土地が減少したが事業を継続していく。

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030100		事業の種類	6		
年度	25	事務事業名	那波丘の台土地区画整理事業		予算事業名	那波丘の台土地区画整理事業 優先度 3		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名 建設農林部都市整備課				
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田 雅仁		担当者名	齊藤 誠
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	有		主要事業の指定	有
実施計画事業名		那波丘の台地区市街地整備事業						
根拠法規及び関連法規		土地区画整理法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者						
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用増進を図り、魅力あるまちづくりを行う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用増進を図る。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	道路整備	m	28	120	27	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.792	0.948	120	0.968	102	0.968	100	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	6,568,224	7,629,288	116	7,758,346	102	8,098,197	104	
	事業費	58,044,106	135,430,830	233	55,722,270	41	31,923,000	57	
	合計	64,612,330	143,060,118	221	63,480,616	44	40,021,197	63	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	64,612,330	143,060,118	221	63,480,616	44	40,021,197	63	
合計	64,612,330	143,060,118	221	63,480,616	44	40,021,197	63		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路整備延長							
指標説明(式)		道路整備延長							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
m	目標	60	120	200.0	27	22.5	0	0.0	
	実績	28	120	428.6	27	22.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

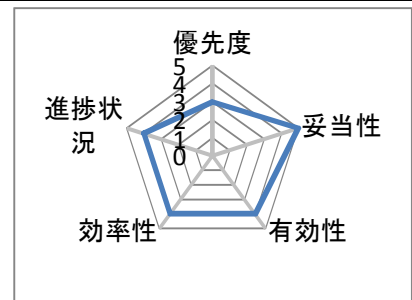
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	道路整備及び公園整備において、予定どおり年度内にすべて完了した。	4
効率性	執行体制の効率性	平成19年度より課内の職員数が減となり、今年度においても個々の事務量が増加したが、効率性を高めつつ当該年度の事業を進めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ事業完了しているが、更に事業推進を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	工事が完了し、換地処分に向けた事業推進を図る。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030200		事業の種類	3		
年度	25	事務事業名	經由進達事業		予算事業名			
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田雅仁		担当者名	國重・古川
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		租税特別措置法、県：景観の形成等に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	県						
	誰(何)を対象として	建築確認申請・道路位置指定申請・優良住宅認定申請・耐震改修補助申請・大規模建築物等の届出・建基法上の許認可申請・都計法上の許認可申請						
	意図(どのような状態にしたいのか)	県への經由進達						

2 事業の概要 Do

実施の概要		建築基準法、租税特別措置法、景観の形成等に関する条例(県条例)に基づき市の意見書、進達書等を付して進達する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	確認申請受付件数	件	14	7	9		
	調査依頼件数	件	114	108	139		
	大規模建築物届出件数	件	0	4	4		
	建基法・都計法許認可申請	件	18	16	15		

3 投入資源

会計区分		事業費単位：円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.380	0.380	100	0.380	100	0.080	21	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	3,315,484	3,242,056	98	3,238,390	100	966,669	30	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	3,315,484	3,242,056	98	3,238,390	100	966,669	30	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	3,315,484	3,242,056	98	3,238,390	100	966,669	30	
	合計	3,315,484	3,242,056	98	3,238,390	100	966,669	30	

※ 事業の進捗状況

事業費単位：円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		確認申請1件あたり調査書作成手数料							
指標説明(式)		(指定確認検査機関よりの納入額 + 移譲事務市町交付金) ÷ 調査件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	2312	2774	120.0	3118	112.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		確認申請1件あたり受付処理時間(事前相談含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(45 時間) ÷ 1年間の受付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	6	6	100.0	5	83.3			
指標名2		調査依頼1件あたり受付処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(691 時間) ÷ 1年間の受付件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	6	6	100.0	5	83.3			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	建築確認申請の審査が特定行政庁から民間の指定機関へ移行している。	
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	

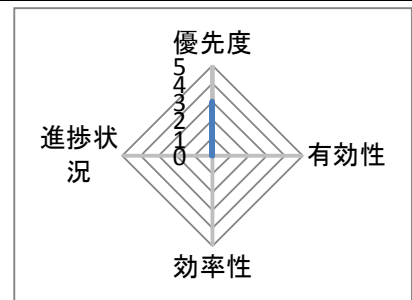
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	法的に市の経由進達についての根拠がなく窓口市町ということで経由している市の関与性の薄い事務がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	1件あたりの事務処理時間の短縮に努める。



配点	25
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050101030300		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	開発行為関連事業	優先度	3	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田雅仁	担当者名	國重・古川
取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規	都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	開発計画等のある者又はその代理人				
	誰(何)を対象として	都市計画法32条に基づく同意・協議申請及び29条に基づく開発許可申請				
	意図(どのような状態にしたいのか)	32条に基づく協議及び同意、29条に基づく申請の経由進達				

2 事業の概要 Do

実施の概要	開発行為により設置される公共施設の管理者協議のとりまとめ、開発の技術基準に基づく指導。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	32条協議申請	件	0	6	9	
	29条申請	件	0	7	10	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.280	0.280	100	0.280	100	0.480	171	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	2,525,984	2,469,656	98	2,469,690	100	4,179,069	169	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	2,525,984	2,469,656	98	2,469,690	100	4,179,069	169	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	2,525,984	2,469,656	98	2,469,690	100	4,179,069	169	
合計	2,525,984	2,469,656	98	2,469,690	100	4,179,069	169		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	有効性を測る指標はない								
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

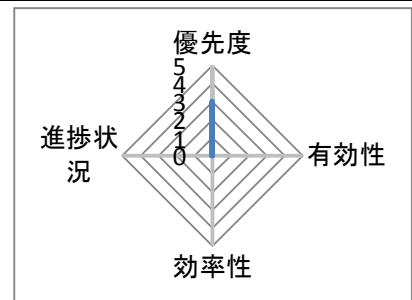
指標名1		32条協議 1件あたり処理期間(事前協議含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(543時間) ÷ 1年間の協議件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	30	91	303.3	60	65.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	帰属される公共施設の管理者協議のとりまとめをする。	
効率性	執行体制の効率性	関係各課を対象とする連絡調整会議又は個別各課協議。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	関係各課を対象とする連絡調整会議又は個別各課との協議方法。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	開発行為の内容や規模等に応じ、協議方法を検討し、効率的な協議の実施を行う。

配点	25
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101030400		事業の種類		1	
年度	25	事務事業名	優良住宅・宅地認定事業	予算事業名		優先度	2
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田雅仁	担当者名	國重・古川
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		租税特別措置法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	優良住宅・宅地					
	意図(どのような状態にしたいのか)	優良住宅・優良宅地の認定基準に適合するものを認定し、税制上の優遇措置を受けてもらう。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		租税特別措置法の認定基準に合う住宅・宅地の認定をする。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	認定件数	件	0	0	0		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.056	0.056	100	0.056	100	0.048	86	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	757,504	739,480	98	747,802	101	709,677	95	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	757,504	739,480	98	747,802	101	709,677	95	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	757,504	739,480	98	747,802	101	709,677	95	
	合計	757,504	739,480	98	747,802	101	709,677	95	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		申請書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数 ÷ 1年間の申請件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	0	0	-	0	-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	税の特例を受けるための制度であるが、制度利用者等は少ない。	
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	

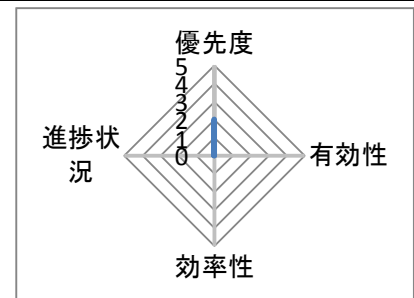
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	制度の必要性が薄れてきている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	制度の周知を図る。



配点	25
総合評価	4

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030500		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	地区計画適合審査事業		予算事業名		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田雅仁	担当者名	國重・古川
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地区計画決定区域内で建築行為等を行おうとする者又はその代理人					
	誰(何)を対象として	地区計画区域内の建築行為等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	建築行為等が地区計画の決定内容に適合するよう指導することにより区域内の良好な環境の保全、整備を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地区計画決定区域内における建築行為等の届出書の受付及び決定事項に適合しているかどうかの審査をする。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	受付認定件数	件	10	13	6		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.114	0.114	100	0.114	100	0.130	114	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,215,414	1,187,472	98	1,193,648	101	1,368,219	115	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	1,215,414	1,187,472	98	1,193,648	101	1,368,219	115	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	1,215,414	1,187,472	98	1,193,648	101	1,368,219	115	
	合計	1,215,414	1,187,472	98	1,193,648	101	1,368,219	115	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		届出書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数(221時間) ÷ 1年間の届出件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	22	17	77.3	37	217.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	決定区域内の良好な環境の保全、整備状況	
効率性	コストの節減	審査用のチェック表の作成等審査時間の短縮を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	

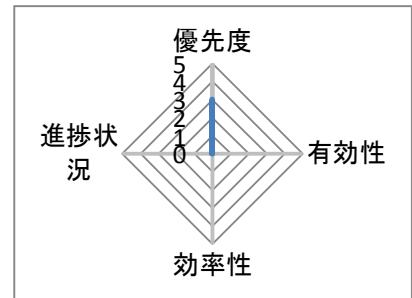
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	土地利用が進むにつれ、届出件数は減少していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	届出件数は減少していくが、決定内容に適合しないものがないか現地確認が必要



配点	25
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030600		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	道路判定台帳整備事業		予算事業名		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田雅仁	担当者名	國重・古川
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		建築基準法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	建築計画のある市民及びその代理人					
	誰(何)を対象として	建築基準法上の道路に関する情報図					
	意図(どのような状態にしたいのか)	計画敷地が建築基準法上の道路に接道しているかどうか判断できる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		建物等建築計画のある市民に建築基準法上の道路の取り扱いについて情報を提供する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	書込路線件数	件	12	11	9		
	閲覧件数	件	188	235	256		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.156	0.156	100	0.156	100	0.156	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,547,004	1,511,880	98	1,516,502	100	1,577,025	104	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	1,547,004	1,511,880	98	1,516,502	100	1,577,025	104	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	1,547,004	1,511,880	98	1,516,502	100	1,577,025	104	
	合計	1,547,004	1,511,880	98	1,516,502	100	1,577,025	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路判定閲覧件数							
指標説明(式)		道路判定結果を閲覧した件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績	188	235	125.0	256	108.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	道路判定結果を市民の閲覧に供する。	
効率性	執行体制の効率性	県民局の道路判定結果を地形図に書き込みしている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	

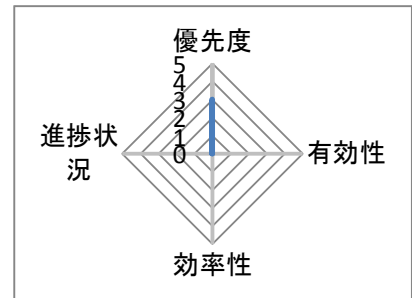
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	執行体制の効率性	建築基準法上の道路かどうかの判定がされていない道路が多くある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	執行体制の効率性	県が道路判定する際に必要な資料、情報等を前もって準備、提供を行う。



配点	25
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030700		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	市有建物営繕事業		予算事業名		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	高田雅仁	担当者名	國重・古川
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	関係課					
	誰(何)を対象として	市有建物					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市有建物の営繕工事において担当課にかわり建築技術職員が委託業務内容、工事内容を把握し設計書を作成する。又、契約図書等に基づき請負者に対し契約の履行を指導する。市有					

2 事業の概要 Do

実施の概要		施設管理者に代わり業務委託・工事発注に必要な設計書を作成する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	委託件数	件	0	0	3		
	営繕工事件数	件	10	8	4		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.860	0.860	100	0.860	100	0.860	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	7,105,084	6,949,576	98	6,928,150	100	7,230,849	104	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	7,105,084	6,949,576	98	6,928,150	100	7,230,849	104	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	7,105,084	6,949,576	98	6,928,150	100	7,230,849	104	
	合計	7,105,084	6,949,576	98	6,928,150	100	7,230,849	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		営繕工事1件あたりの処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(1666時間) ÷ 工事件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	167	208	124.6	417	200.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	施設管理上の営繕工事の実施	
効率性	執行体制の効率性	関係各課より受託工事	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	

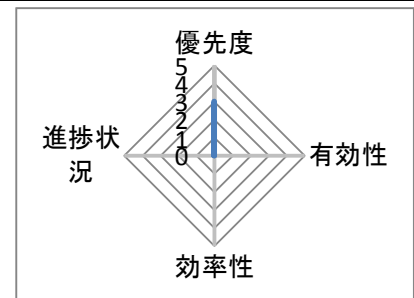
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	破損、老朽箇所等の修繕のみを実施し、建物の延命措置等が行われていない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	建物自体の延命対策等を検討する旨を施設管理者に依頼する。



配点	25
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040200		事業の種類	2		
年度	25	事務事業名	再開発住宅管理事業		予算事業名	再開発住宅管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至	担当者名	宇久 勝志	
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		再開発住宅管理事業		再開発住宅管理事業				
根拠法規及び関連法規		相生駅南再開発住宅条例・相生駅南再開発住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生駅南土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した相生駅南再開発住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	再住維持管理費	千円	2,257	2,353	2,304	2,991	
	再住家賃収入	千円	20,485	20,949	21,140	19,248	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.120	120	0.080	67	
	臨時職員	0.052	0.040	77	0.040	100	0.060	150	
支出内訳	人件費	1,226,928	1,175,456	96	1,337,410	114	1,118,289	84	
	事業費	2,257,004	2,353,430	104	2,304,333	98	2,991,000	130	
	合計	3,483,932	3,528,886	101	3,641,743	103	4,109,289	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	20,053,000	20,949,000	104	21,140,000	101	19,248,000	91	
	一般財源	-16,569,068	-17,420,114	105	-17,498,257	100	-15,138,711	87	
合計	3,483,932	3,528,886	101	3,641,743	103	4,109,289	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		再開発住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)／全戸数×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	97	97.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		再開発住宅収益率							
指標説明(式)		再開発住宅家賃収入／再開発住宅維持管理費×100 (100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	854	841	98.5	793	94.3	644	81.2	
	実績	908	890	98.0	918	103.1			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者が退去した後の空部屋を有効利用するため、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	5
効率性	コストの節減	同一箇所の修繕が各部屋に多数発生している状況の中、緊急性等を考慮しながら費用の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

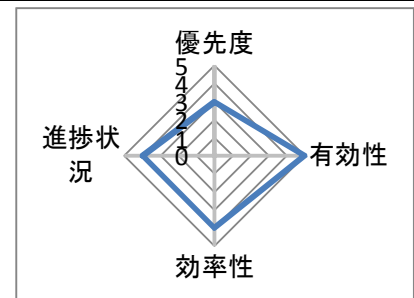
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	相生駅南土地区画整理事業施行に伴い、建築された住宅であるため、事業対象用の住宅として維持管理しなければならない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	公募による一般入居を逐次行い、入居率の向上に努める。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040300		事業の種類	2		
年度	25	事務事業名	市営住宅維持管理事業		予算事業名	公営住宅維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至	担当者名	宇久 勝志	
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		公営住宅整備事業		雇用促進住宅取得事業				
		公営住宅管理事業						
根拠法規及び関連法規		公営住宅法、公営住宅法施行令、公営住宅法施行規則 相生市営住宅条例、相生市営住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に住所地又は勤務地を有する者						
	誰(何)を対象として	住宅に困窮する低額所得者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	低廉な家賃を提供することにより、低額所得者にとって今までの高額家賃から開放され、生活にゆとりが生まれてくる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で提供する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	募集戸数	戸	19	11	10	8	
	応募者数	人	7	4	2		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.700	0.676	97	0.684	101	0.560	82	
	臨時職員	0.124	0.124	100	0.124	100	0.184	148	
支出内訳	人件費	6,132,912	5,826,332	95	5,877,922	101	5,286,517	90	
	事業費	9,475,322	43,585,093	460	6,999,496	16	10,363,000	148	
	合計	15,608,234	49,411,425	317	12,877,418	26	15,649,517	122	
財源内訳	国庫支出金		18,490,000	-		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	20,408,000	19,146,900	94	18,716,000	98	15,873,000	85	
	一般財源	-4,799,766	11,774,525	-245	-5,838,582	-50	-223,483	4	
合計	15,608,234	49,411,425	317	12,877,418	26	15,649,517	122		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		応募倍率							
指標説明(式)		応募者数/募集戸数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0.37	0.37	100.0	0.2	54.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		市営住宅1戸当たりの維持修繕費							
指標説明(式)		維持修繕費／管理戸数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	59,603	59,603	100.0	59,603	100.0	59,603	100.0	
	実績	59,551	38,953	65.4	43,114	110.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	退去した住宅の修繕を早急に行い、応募者一人当たりの住宅供給度を上げる。	4
	市民サービス	低所得者層への住宅供給	
効率性	コストの節減	老朽化しており、修繕費が高くつく	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

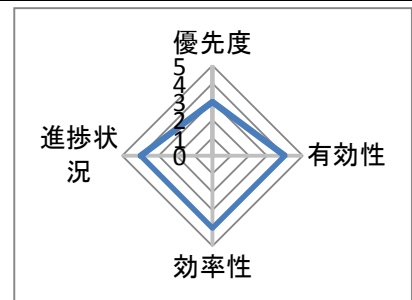
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	H24度に建替計画を策定したが、財源的に厳しいものがあるため、見直しを含め、現状どおり予防保全的な修繕を実施し、コスト縮減に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	H24度に建替計画を策定したが、財源的に厳しいものがあるため、見直しを含め、現状どおり予防保全的な修繕を実施し、コスト縮減に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050101040400		事業の種類	2		
年度	25	事務事業名	コミュニティ住宅管理事業	優先度	3	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至	担当者名	宇久 勝志
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名	コミュニティ住宅管理事業		コミュニティ住宅管理事業			
根拠法規及び関連法規	コミュニティ住宅条例・コミュニティ住宅条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者				
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要	那波丘の台住環境整備事業及び土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した那波丘の台コミュニティ住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	コミ住維持管理費	千円	3,386	3,469	3,430	3,503
	コミ住家賃収入	千円	25,335	25,332	26,128	26,200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.164	0.148	90	0.148	100	0.144	97	
	臨時職員	0.052	0.040	77	0.040	100	0.064	160	
支出内訳	人件費	1,732,208	1,546,208	89	1,552,646	100	1,642,381	106	
	事業費	2,902,102	3,469,357	120	3,430,727	99	3,503,000	102	
	合計	4,634,310	5,015,565	108	4,983,373	99	5,145,381	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	26,212,000	25,332,700	97	26,128,000	103	26,200,000	100	
	一般財源	-21,577,690	-20,317,135	94	-21,144,627	104	-21,054,619	100	
合計	4,634,310	5,015,565	108	4,983,373	99	5,145,381	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	コミュニティ住宅入居率								
指標説明(式)	入居戸数(各年度末)÷全58戸×100 目標率:H22=58戸-4戸(事業用空)÷58戸×100=93.1%、H23=58/58戸=100%(事業用)								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	94.8	98.3	103.7	100	101.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

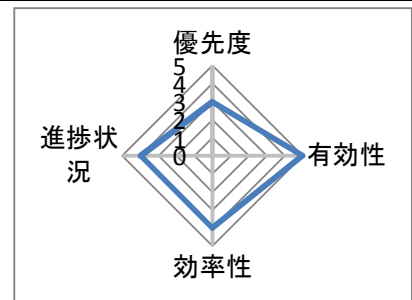
指標名1		コミュニティ住宅収益率							
指標説明(式)		コミュニティ住宅家賃収入/コミュニティ住宅維持管理費×100 (100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	774	744	96.1	744	100.0	748	100.5	
	実績	748	730	97.6	762	104.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業入居者が退去した後の空部屋を有効利用するために、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	5
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	公募による一般入居を逐次行い、入居率の向上に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	公募による一般入居を逐次行い、入居率の向上に努める。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040500		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	若者定住促進奨励金支給事業		予算事業名	若者定住促進奨励金支給事業 優先度 3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至		担当者名 宇久 勝志
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市若者定住促進奨励金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	自己が居住する住宅を取得した40歳未満の若者					
	誰(何)を対象として	若者定住促進奨励金の支出					
	意図(どのような状態にしたいのか)	若者の住宅取得を容易にし、若者世帯の定住を促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者に、月1万円の奨励金を60ヶ月間交付(但し、毎年度ごとに交付申請と請求を行い、1年度分を、翌年度4月に振り込みとする。)					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	交付決定件数	件	133	204	285	285	
	“(新規分)”	件	51	71	82	0	
	“(継続分)”	件	82	133	203	285	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.208	0.148	71	0.148	100	0.084	57	
	臨時職員	0.252	0.252	100	0.252	100	0.500	198	
支出内訳	人件費	2,548,988	2,055,644	81	2,070,138	101	2,262,293	109	
	事業費	12,750,000	18,980,000	149	26,370,000	139	33,090,000	125	
	合計	15,298,988	21,035,644	137	28,440,138	135	35,352,293	124	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	15,298,988	21,035,644	137	28,440,138	135	35,352,293	124	
	合計	15,298,988	21,035,644	137	28,440,138	135	35,352,293	124	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		40歳未満の若者の住宅取得割合							
指標説明(式)		40歳未満で住宅を新築した若者の割合 新規交付決定件数 / 市内における新築住宅件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0	0.0	
	実績	53.7	69.6	129.6	71.9	103.3			
指標名2		住宅取得奨励金制度への期待度							
指標説明(式)		アンケート結果から見る、奨励金制度により住宅取得を決意した若者の割合 (アンケート結果)住宅取得のきっかけになった延件数/延交付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0	0.0	
	実績	39.8	46.6	117.1	50.7	108.8			

【効率性】

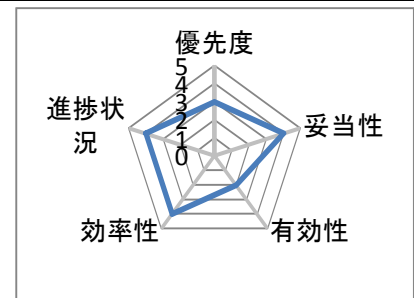
指標名1		交付決定者1人当たり人件費							
指標説明(式)		人件費÷総交付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	14,587	12,784	87.6	8,063	63.1	7,938	98.4	
	実績	19,165	10,076	52.6	7,264	72.1			
指標名2		広報紙によるPR回数							
指標説明(式)		制度周知に向けたPR(広報紙以外ではホームページに掲載)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	1	25.0	0	0.0	
	実績	4	0	0.0	2	-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	住宅新築者の約70%が40歳未満ということで、ターゲットとしてはあっている。	2
	市民サービス	アンケート結果より、本制度の満足度が50%未満という状況は、住宅購入に対して単独では大きな要素となっていない。	
効率性	執行体制の効率性	毎年、住民票及び登記簿を添付して申請させることで中途での転出者を対象から除外できる。	4
	手段の最適性	制度のPRについては、市全体のパンフ等にてPRが図られており、担当課として広報紙への記事掲載などの作業時間を削減することにより、事務の軽減が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	年度当初に見込んだ申請件数とほぼ同数の申請があった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	近隣市町で同種の事業を行っているので、他市町との差別化を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	定住施策全体について、プロジェクトチームで検証し、若者定住促進奨励金と転入者住宅取得奨励金を廃止して新たな制度を構築した。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040600		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	転入者住宅取得奨励金交付事業		予算事業名	転入者住宅取得奨励金交付事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至		担当者名	宇久 勝志
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		転入者住宅取得奨励金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市外から転入して市内に住宅を新築又は購入した者					
	誰(何)を対象として	転入者住宅取得奨励金の支出					
	意図(どのような状態にしたいのか)	転入及び定住の促進を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者に30万円(満18歳以下の世帯員がいる場合は、1人につき5万円を加算する)の奨励金を交付する。総額は50万円を限度とする。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	交付決定件数	件	14	21	48	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.208	0.208	100	0.208	100		0	
	臨時職員	0.124	0.124	100	0.124	100		0	
支出内訳	人件費	2,248,572	2,211,500	98	2,218,910	100	324,189	15	
	事業費	4,850,000	7,400,000	153	16,750,000	226		0	
	合計	7,098,572	9,611,500	135	18,968,910	197	324,189	2	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,098,572	9,611,500	135	18,968,910	197	324,189	2	
	合計	7,098,572	9,611,500	135	18,968,910	197	324,189	2	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新築住宅における転入者の割合							
指標説明(式)		新規交付決定件数/市内における新築住宅件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0	0	0.0	
	実績	14.7	20.6	140.1	42.1	204.4			
指標名2		住宅取得奨励金制度に対する満足度							
指標説明(式)		アンケート結果から見る、奨励金制度が転入して住宅を取得するきっかけになった割合(アンケート結果)住宅取得のきっかけになった延件数/延交付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	0	0.0	
	実績	42.9	51.4	119.8	50.6	98.4			

【効率性】

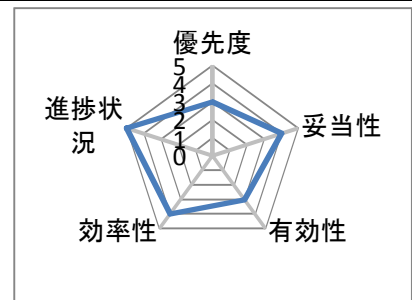
指標名1		交付決定者1人当たり人件費							
指標説明(式)		人件費÷総交付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	172,967	112,973	65.3	89,419	79.2	0	0.0	
	実績	160,612	105,309	65.6	46,227	43.9			
指標名2		広報におけるPR回数							
指標説明(式)		制度周知に向けたPR(広報紙以外ではホームページに掲載)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	1	25.0	0	0.0	
	実績	4	0	0.0	2	-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	転入者の割合が昨年実績よりもあがっており、全体の約42%となっている。	3
	市民サービス	アンケート結果より、本制度に対する満足度は約50%で、転入理由も血縁関係による事例が大多数を占めている状況では、住宅購入に際しては、この制度が単独で大きな要素を担っていない。	
効率性	執行体制の効率性	若者定住促進奨励金事業との併用が可能であり、同時申請及び必要書類の兼用などにより、審査等を迅速かつ効率的に行えている。	4
	手段の最適性	制度のPRについては、市全体のパンフ等にてPRが図られており、他施策と一体的にPRすることにより、制度のPRが図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	年度当初に見込んだ申請件数とほぼ同数の申請があった。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	近隣市町も同様の事業を行っているので、他市町との差別化を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	定住施策全体について、プロジェクトチームで検証し、若者定住促進奨励金と転入者住宅取得奨励金を廃止して新たな制度を構築した。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040700	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	新婚世帯賃貸住宅家賃補助金交付事業	予算事業名	新婚世帯家賃補助金交付事業
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部定住促進室
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		担当者名	富田 大三
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		新婚世帯賃貸住宅家賃補助金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結した婚姻3年以内で40歳未満の若者			
	誰(何)を対象として	新婚世帯家賃補助金の支出			
	意図(どのような状態にしたいのか)	新婚世帯の市内への定住及び民間賃貸住宅の活用を促進する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者に月1万円の補助金を3年間交付(但し、毎年度ごとに交付申請と請求を行い、1年度分を、翌年度4月に振り込みとする。)				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	交付決定件数	件	57	135	258	352
	“(新規分)”	件	57	78	123	94
	“(継続分)”	件	0	57	135	258

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.208	0.268	129	0.268	100	0.216	81	
	臨時職員	0.252	0.252	100	0.252	100	0.200	79	
支出内訳	人件費	2,548,988	2,982,524	117	2,992,578	100	2,564,285	86	
	事業費	2,380,000	10,660,000	448	20,160,000	189	29,380,000	146	
	合計	4,928,988	13,642,524	277	23,152,578	170	31,944,285	138	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,928,988	13,642,524	277	23,152,578	170	31,944,285	138	
合計	4,928,988	13,642,524	277	23,152,578	170	31,944,285	138		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規交付決定件数のうち市外からの転入件数							
指標説明(式)		新規交付決定件数(新規分)のうち市外からの転入件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	10	100.0	50	500.0	
	実績	31	48	154.8	72	150.0			
指標名2		家賃補助金制度に対する満足度							
指標説明(式)		アンケート結果から見た、補助金制度により市内の賃貸アパートへ住むきっかけになった割合(アンケート結果)市内で賃貸住宅を借りるきっかけになった延件数/延交付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	64.9	69.6	107.2	72.9	104.7			

【効率性】

指標名1		交付決定者1人当たり人件費							
指標説明(式)		人件費÷総交付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	42,483	43,038	101.3	15,827	36.8	7,285	46.0	
	実績	44,719	22,092	49.4	11,599	52.5			
指標名2		パンフレット設置依頼数							
指標説明(式)		「11の鍵」のパンフレットを設置依頼をした不動産業者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
社	目標	-	-	-	15	-	20	133.3	
	実績	-	-	-	15	-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新婚世帯の市内への定住及び民間賃貸住宅の活用が促進でき、にぎわいと活気づくりに貢献している。	5
	市民サービス	アンケート結果より、本制度により市内の賃貸住宅に居住したと答えた割合が約70%を超えており、転入者も予想以上の件数となっており、制度が有効に機能している。	
効率性	執行体制の効率性	毎年、住民票及び戸籍謄本等を添付して申請させることで要件を満たさなくなった者を除外でき、適正な運営とともにコストの節約を図っている。	3
	手段の最適性	制度のPRついて、不動産業者へパンフレット設置を依頼することで、効果的なPRの手段がとれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	転入者の件数が大幅に増加している。	4

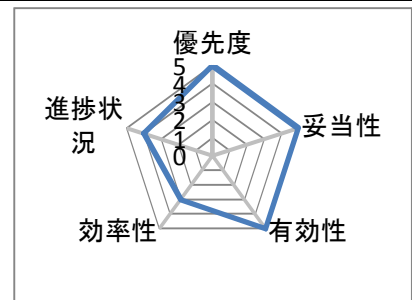
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	新婚世帯家賃補助交付者と定住者住宅取得者とのつながりが必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	転入により新婚世帯家賃補助を受けていた人が、住宅取得をした場合に転入者扱いとして加算するなどつながりをもたせる。



配点	32.5
総合評価	29.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101040800		事業の種類		2	
年度	25	事務事業名	定住促進住宅管理事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至	担当者名	宇久 勝志
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		佐方定住促進住宅管理事業		佐方定住促進住宅管理事業			
根拠法規及び関連法規		定住促進住宅条例・定住促進住宅条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に定住するために住宅が必要な者					
	誰(何)を対象として	市内に定住するために住宅が必要な者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内に定住するために住宅が必要な者に生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内への定住を促進するために独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より取得した定住促進住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	定住維持管理費	千円		13	3,182	2,028	
	定住家賃収入	千円		1,131	13,541	12,961	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.148	-	0.084	57	
	臨時職員			-	0.044	-	0.064	145	
支出内訳	人件費			-	1,562,410	-	1,160,521	74	
	事業費			-		-		-	
	合計			-	1,562,410	-	1,160,521	74	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	13,541,000	-	12,961,000	96	
	一般財源			-	-11,978,590	-	-11,800,479	99	
合計			-	1,562,410	-	1,160,521	74		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		定住促進住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末) / 全戸数 × 100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標		80	-	80	100.0	80	100.0	
	実績		76.9	-	76.9	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		定住促進住宅収益率							
指標説明(式)		定住促進住宅家賃収入／定住促進住宅維持管理費×100(100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標		100	-	100	100.0	639	639.0	
	実績		8,700	-	426	4.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者の増加を図るため、随時、公募による募集を行っている。	4
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

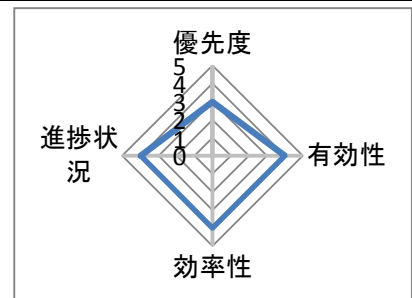
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	市内への定住を促進するために独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より取得した住宅であるが、入居希望者が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	引き続き、随時、公募による募集を行い、入居率の向上に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050102010100		事業の種類	1			
年度	25	事務事業名	安室ダム水道用水供給事業	予算事業名	安室ダム水道用水供給事業	優先度	3
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	後藤 卓	
取組み事項	上水道の安定供給と安全強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	安室ダム水道用水供給企業団					
	意図(どのような状態にしたいのか)	将来、高度化する地域住民の生活水準及び宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加となったときのための安定供給及び洪水調節等の治水対策。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	将来の宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加への安定供給及び洪水調節等の治水対策のために建設された安室ダム事業					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	議会	回	3	2	2	3
	担当者会議	回	4	2	2	3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104
	参事以下職員	0.028	0.016	57	0.028	175	0.012	43
	臨時職員	0.004	0.004	100	0.004	100	0.000	0
支出内訳	人件費	545,832	440,132	81	542,330	123	420,561	78
	事業費	59,891,000	59,469,000	99	59,858,000	101	71,832,000	120
	合計	60,436,832	59,909,132	99	60,400,330	101	72,252,561	120
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債	20,090,668	18,100,000	90		0		-
	その他	30,844,618	31,228,473	101		0		-
	一般財源	9,501,546	10,580,659	111	60,400,330	571	72,252,561	120
合計	60,436,832	59,909,132	99	60,400,330	101	72,252,561	120	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	安室ダム水源開発費								
指標説明(式)	安室ダム水源開発費経費								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	18,427	18,122	98.3	17,041	94.0	16,610	97.5	
	実績	18,427	18,122	98.3	17,041	94.0			
指標名2	安室ダム水道用水供給量								
指標説明(式)	水道用水供給量								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
m ³	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	機器更新に関する負担割合について県と協議を行った結果、今回は、当初の予定よりも負担額は減少しているが、将来的にもダムを保有する限り機器更新などへの対応が必要である。	2
	関係(根拠)法令等から見た効果	義務的経費であり、予定どおり償還する以外ない。	
効率性	執行体制の効率性	事務については、安室ダム水道用水供給企業団事務局が行っており、効率的であると考ええる。	2
	コストの節減	ダム施設を維持していくための機器更新費用が発生しているため、負担額が増加している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水需要が見込まれない状況化であり、供用開始されていない。	1

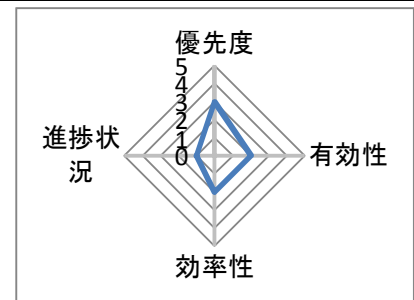
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	水需要が見込まれないなかで、償還のみが残った状況である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	新たな費用負担が発生しないよう県と連携しながら、取り組む。



配点	25
総合評価	11

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102010200	事業の種類	3
年度	25	事務事業名	西播磨水道企業団連絡調整事業	予算事業名	西播磨水道企業団事業 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			
担当部局名		企画総務部企画広報課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る	担当課長	松尾 次郎	担当者名 後藤 卓
取組み事項		上水道の安定供給と安全強化を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名		高度浄水施設整備事業(西播磨水道企業団負担金)			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	西播磨水道企業団			
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨水道企業団事業からの給水を受け、清浄な水を安定供給する。市民への水道用水を供給する企業団と市との連絡調整を行うため必要。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨水道企業団との連絡調整を行う。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	議案・監査等報告書	件	12	16	14	-
	有収水量	m3	4,192,818	4,348,951	4,232,971	-
	給水人口	人	31,906	31,033	30,862	-

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.020	63	0.032	160	0.012	38	
	臨時職員	0.004	0.004	100	0.004	100	0.004	100	
支出内訳	人件費	577,412	471,028	82	573,078	122	430,669	75	
	事業費	5,555,119	5,181,000	93	5,467,000	106	1,162,000	21	
	合計	6,132,531	5,652,028	92	6,040,078	107	1,592,669	26	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,132,531	5,652,028	92	6,040,078	107	1,592,669	26	
合計	6,132,531	5,652,028	92	6,040,078	107	1,592,669	26		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水道議会開催数							
指標説明(式)		水道議会(定例会及び臨時)の開催数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		有収水量							
指標説明(式)		水道料金徴収の対象となった水量							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
m3	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	4,192,818	4,348,951	103.7	4,232,971	97.3			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

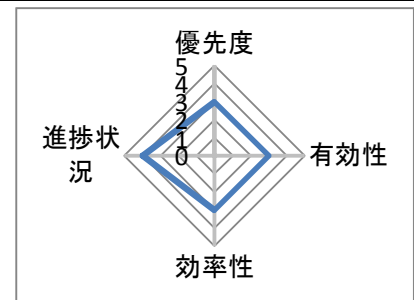
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	水質管理された水が安定して供給されている。	3
効率性	執行体制の効率性	現状は、たつの市と広域で運営する西播磨水道企業団との連絡調整という部分であり、効率的である。	3
	コストの節減	平成25年度は、基礎年金拠出金に係る繰り出し金の部分が増となっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	上水道事業としては、広域運営において順調に進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	現状の連絡調整の事務としては、特に課題として考えていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	例年どおり効率的に実行する。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102020100		事業の種類	6	
年度	25	事務事業名	下水道整備事業		予算事業名	下水道整備事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名	松本好弘
取組み事項	公共下水道施設の整備を進める		実施計画への記載	有		主要事業の指定	有
実施計画事業名	公共下水道整備事業						
根拠法規及び関連法規	都市計画法・下水道法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	下水道普及率を100%にする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	公共下水道の未整備地の整備					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	整備延長	m	0	179	62	100
	公共樹設置	箇所	33	16	58	30

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.408	0.384	94	0.448	117	0.432	96	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	3,536,544	3,272,952	93	3,761,106	115	3,793,581	101	
	事業費	6,516,525	33,179,227	509	61,884,673	187	79,003,000	128	
	合計	10,053,069	36,452,179	363	65,645,779	180	82,796,581	126	
財源内訳	国庫支出金			-	4,235,000	-	32,800,000	774	
	県支出金			-		-		-	
	市債		11,500,000	-	3,800,000	33	29,400,000	774	
	その他	5,202,341	5,361,070	103	5,893,591	110	1,092,000	19	
	一般財源	4,850,728	19,591,109	404	51,717,188	264	19,504,581	38	
合計	10,053,069	36,452,179	363	65,645,779	180	82,796,581	126		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		普及率							
指標説明(式)		公共下水道区域の人口普及率							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
全体進捗率	目標	99.9	99.9	100.0	99.9	100.0	99.9	100.0	
	実績	99.9	99.9	100.0	99.9	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

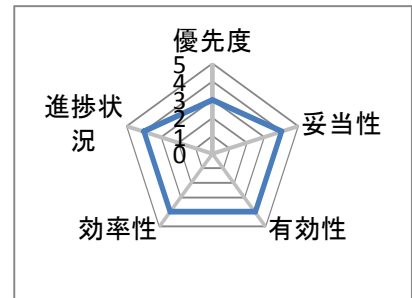
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公共樹設置工事により、より市民ニーズに合った樹設置を行っている。	4
効率性	コストの節減	計画区域内で、住宅等が無く、整備する必要の無い区域は工事を先送りし、経費の節減を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画に対して人口比ではほぼ終焉を迎えているが、住宅地等が無いエリアは下水道も未整備であり、公共樹が設置されていない土地も多く存在する。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	未整備区域の住宅開発地等の計画把握と経費の削減。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	情報収集と整備工法の低コスト型を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050102020200		事業の種類	7			
年度	25	事務事業名	下水道施設長寿命化事業	予算事業名	下水道施設長寿命化事業	優先度	4
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	松本好弘	
取組み事項	公共下水道施設の整備を進める		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	都市計画法・下水道法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	下水処理施設の長寿命化計画を策定し、改築更新により、施設の延命化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生下水管理センターの長寿命化計画策定及び改築更新工事の実施。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	機能診断	式	1			
	長寿命化計画策定	式		1		
	実施設計	式			1	1
電気・機械設備改築更新	式				1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.308	0.252	82	0.256	102	0.256	100	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	2,747,044	2,253,384	82	2,285,202	101	2,380,125	104	
	事業費	22,010,240	21,525,600	98	20,440,240	95	357,341,000	1,748	
	合計	24,757,284	23,778,984	96	22,725,442	96	359,721,125	1,583	
財源内訳	国庫支出金	11,000,000	10,750,000	98	10,215,000	95	194,520,000	1,904	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	9,900,000	9,600,000	97	9,100,000	95	144,900,000	1,592	
	その他	1,100,000	1,175,600	107		0		-	
	一般財源	2,757,284	2,253,384	82	3,410,442	151	20,301,125	595	
	合計	24,757,284	23,778,984	96	22,725,442	96	359,721,125	1,583	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	契約								
指標説明(式)	日本下水道事業団に委託し、事業を実施する。								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
契約	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		事業費							
指標説明(式)		交付金対象事業として実施することにより、コスト節減を図る。							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
交付金	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業に精通している日本下水道事業団に委託することにより、長寿命化計画を策定することが出来た。	5
効率性	コストの節減	長寿命化計画を策定し、計画的に事業を実施することで、コストの節減を図り、交付金の対象となる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね、計画どおり。	4

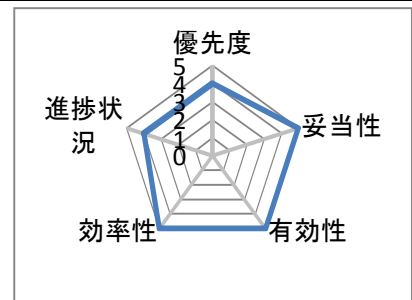
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	32.5
総合評価	29.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102030100		事業の種類	7		
年度	25	事務事業名	農業集落排水施設改築更新事業		予算事業名	農業集落排水施設改築更新事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名	松本好弘
取組み事項		農業集落排水施設などの整備を進める		実施計画への記載	有		主要事業の指定	有
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民						
	誰(何)を対象として	参加市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水施設の機能診断を行い最適整備構想を作成し、機能強化等により施設の延命化を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水施設の最適整備構想の作成及び機能強化工事の実施。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	機能診断	式			1		
	最適整備構想	式				1	
	機能強化工事計画策定	式					1
機能強化工事	式			1			

3 投入資源

会計区分

農集特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員		0.180	-	0.224	124	0.232	104	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費		1,697,256	-	2,039,218	120	2,187,381	107	
	事業費		14,011,990	-	105,438,900	752	14,000,000	13	
	合計		15,709,246	-	107,478,118	684	16,187,381	15	
財源内訳	国庫支出金		14,000,000	-	55,000,000	393	7,000,000	13	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-	45,000,000	-	6,300,000	14	
	その他			-		-		-	
	一般財源		1,709,246	-	7,478,118	438	2,887,381	39	
合計		15,709,246	-	107,478,118	684	16,187,381	15		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		契約							
指標説明(式)		兵庫県土地改良事業団体連合会に委託し、事業を実施する。							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
契約	目標		1	-	1	100.0	1	100.0	
	実績		1	-	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

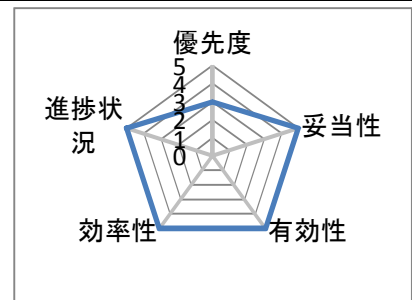
指標名1		事業費							
指標説明(式)		農山漁村地域整備交付金事業として実施することにより、コスト節減を図る。							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
交付金	目標		1	-	1	100.0	1	100.0	
	実績		1	-	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業に精通している兵庫県土地改良事業団体連合会に委託することにより、最適整備構想を策定するに足る施設の機能診断ができた。	5
効率性	コストの節減	最適整備構想を策定し、計画的に事業を実施することで、コストの節減を図り交付金の対象となる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	当初計画より進んでいる。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102030200		事業の種類	6		
年度	25	事務事業名	農業集落排水整備事業		予算事業名	農業集落排水整備事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	松本好弘	
取組み事項		農業集落排水施設などの整備を進める		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		農業集落排水整備事業						
根拠法規及び関連法規		相生市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例 相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設並びに管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道区域以外の市民						
	誰(何)を対象として	公共下水道区域以外の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	早期に100%生活排水の水洗化整備を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等に新規加入時する住宅等に公共枿を設置。 未整備地で、下水管渠築造工事に多大な費用を要する住宅等に、戸別合併処理浄化槽を設置する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	戸別合併浄化槽設置	件	0	0	0	1
	新規加入公共枿設置	件	3	1	2	3

3 投入資源

		会計区分	農集特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.180	0.180	100	0.204	113	0.196	96	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,736,484	1,697,256	98	1,885,478	111	1,898,265	101	
	事業費	1,735,342		0	941,997	-	19,900,000	2,113	
	合計	3,471,826	1,697,256	49	2,827,475	167	21,798,265	771	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	707,837		0		-		-	
	一般財源	2,763,989	1,697,256	61	2,827,475	167	21,798,265	771	
合計	3,471,826	1,697,256	49	2,827,475	167	21,798,265	771		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

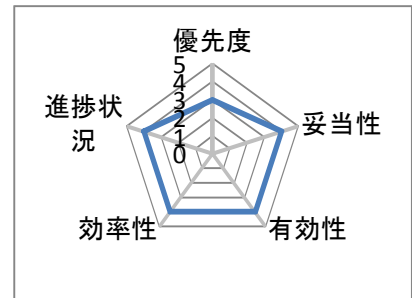
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	新規加入申請に対応しており、市民サービスに込えている。	4
効率性	手段の最適性	公共樹の設置に関して、合理的な工法を選択している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業としては、完了しているが、下水道未整備地は多くある。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	事業は完了しているが、未整備地があるため廃止はできない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	迅速に対応し、市民の要望にこたえる。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040100		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	下水道管理事業	予算事業名	下水道管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	松本好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活排水による汚濁負荷を低減し、公共水域の水質保全を図るため、総括管理を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		施設台帳の整備等総括管理事務を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	下水道台帳整備	式	1	1	1	1	
	下水道調査報告	式	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.344	0.304	88	0.344	113	0.344	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	3,031,264	2,655,032	88	2,961,658	112	3,086,853	104	
	事業費	27,842,423	43,996,040	158	45,037,776	102	45,547,000	101	
	合計	30,873,687	46,651,072	151	47,999,434	103	48,633,853	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	997,500	43,996,040	4,411	45,037,776	102	45,547,000	101	
	一般財源	29,876,187	2,655,032	9	2,961,658	112	3,086,853	104	
合計	30,873,687	46,651,072	151	47,999,434	103	48,633,853	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	常に最新の状態に台帳を整備することができる。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令にそった成果が概ね得られた。	
効率性	手段の最適性	専門業者に委託することにより効率が図られている。	4
	執行体制の効率性	速やかな対応が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	下水整備に合わせて、進捗している。	4

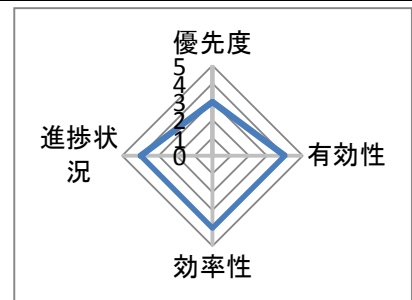
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	下水道台帳と現地に差異があるところがある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	台帳の精査が必要である。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040200		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	賦課徴収事業(下水)		予算事業名	賦課徴収事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名	松本好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		下水道法・都市計画法・相生市下水道条例・相生市下水道事業受益者負担金条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道事業受益者						
	誰(何)を対象として	公共下水道事業受益者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	条例に則り、公共下水道受益者から使用料及び負担金の応分の費用を徴収する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		使用料徴収事務委託により、経費の節減を図る。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	下水道使用料徴収	式	1	1	1	1	
	受益者負担金徴収	式	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.232	0.392	169	0.312	80	0.312	100	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	2,147,024	3,334,744	155	2,715,674	81	2,829,861	104	
	事業費	24,050,009	23,829,036	99	25,105,316	105	24,971,000	99	
	合計	26,197,033	27,163,780	104	27,820,990	102	27,800,861	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	26,197,033	23,829,036	91	25,105,316	105	24,971,000	99	
	一般財源	0	3,334,744	-	2,715,674	81	2,829,861	104	
合計	26,197,033	27,163,780	104	27,820,990	102	27,800,861	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		下水道使用料徴収件数							
指標説明(式)		徴収件数/徴収対象件数×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.64	98.08	99.4	97.99	99.9			
指標名2		受益者負担金賦課件数(猶予取消し分含む)							
指標説明(式)		負担金徴収件数/負担金徴収対象件数×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	94.4	93.33	98.9	92.31	98.9			

【効率性】

指標名1		下水道使用料徴収金額率							
指標説明(式)		徴収金額／徴収対象金額×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	97.69	98.17	100.5	98.17	100.0			
指標名2		受益者負担金徴収金額率							
指標説明(式)		徴収金額／賦課金額×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	95.8	99.42	103.8	99.73	100.3			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	使用料金徴収を西播磨水道企業団に委託することにより、上水道使用料と一括徴収することができ、徴収率の高率維持につながっている。	5
	成果の向上	下水道受益者負担金は、農業委員会と連携をとり、負担金徴収猶予となっている農地の宅地化の情報を基に、賦課徴収している。	
効率性	コストの節減	使用料金徴収を西播磨水道企業団に委託することにより、上水道使用料と一括徴収することができ、コストを節減している。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	徴収事業は目標に近い率を維持している。	4

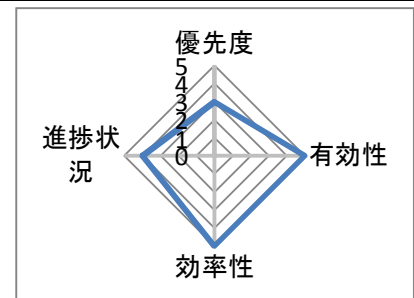
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	支払能力の低い受益者への催告の仕方を検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	分割納付回数について柔軟に対応する。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040300		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	排水設備管理事業(下水)		予算事業名	排水設備管理事業 優先度 3		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名	松本好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例・相生市下水道排水設備指定工事店規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民						
	誰(何)を対象として	排水設備指定工事店						
	意図(どのような状態にしたいのか)	確認審査及び検査を行うことにより、施工の均一性及び見積の適正化を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		下水道排水設備指定工事店の指定を行い、排水設備工事の適正な施工を確保する。排水設備等の設置申請を確認し、排水設備等工事の完了検査を行う。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	確認検査	件	104	153	58	100		

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.312	0.256	82	0.208	81	0.184	88	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	2,778,624	2,284,280	82	1,916,226	84	1,801,893	94	
	事業費	868,702	194,807	22	254,473	131	167,000	66	
	合計	3,647,326	2,479,087	68	2,170,699	88	1,968,893	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		194,807	-	254,473	131	167,000	66	
	一般財源	3,647,326	2,284,280	63	1,916,226	84	1,801,893	94	
合計	3,647,326	2,479,087	68	2,170,699	88	1,968,893	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水設備件数							
指標説明(式)		排水設備件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	100	100.0	150	150.0	100	66.7	
	実績	104	153	147.1	58	37.9	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		排水設備確認審査・検査コスト							
指標説明(式)		当該年度支出額／排水設備確認審査・検査件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	35,070	16,203	46.2	37425	231.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	設備工事の品質向上がみられた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	概ね基準どおり施工されている。	
効率性	コストの節減	概ね現状維持。	3
	執行体制の効率性	概ね現状維持。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	3

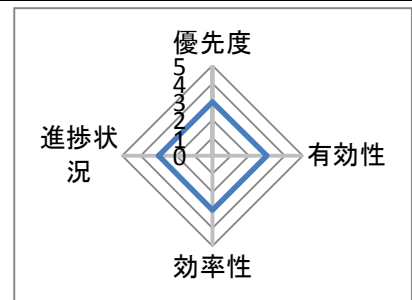
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施工監理に向上の余地がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	確認申請時及び完了検査時に指導を徹底する。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040400		事業の種類	2	
年度	25	事務事業名	汚水処理施設維持管理事業	予算事業名	汚水処理施設維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	松本好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	利用者					
	誰(何)を対象として	利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	汚水処理の維持管理を適正に行い、利用者が常に安心して下水道を使用できるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		脱水汚泥等の処分及び下水管渠の清掃。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	汚泥処分	トン	2,319	2,221	2176	2300	
	管渠清掃	m	15,344	15,605	10149	10000	
	管渠調査	m			900	1000	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.304	0.260	86	0.252	97	0.252	100	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	2,715,464	2,315,176	85	2,254,454	97	2,348,001	104	
	事業費	55,160,630	54,467,627	99	55,002,269	101	59,713,000	109	
	合計	57,876,094	56,782,803	98	57,256,723	101	62,061,001	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	57,876,094	53,679,497	93	55,002,269	102	59,713,000	109	
	一般財源	0	3,103,306	-	2,254,454	73	2,348,001	104	
合計	57,876,094	56,782,803	98	57,256,723	101	62,061,001	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		汚泥処分のリサイクル率							
指標説明(式)		リサイクル施設搬入汚泥量/発生汚泥量×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		脱水汚泥のセメント原料化施設への搬入率の向上							
指標説明(式)		汚泥のセメント原料化施設搬入量／発生汚泥量×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	93.75	93.75	100.0	97.4	103.9	97.4	100.0	
	実績	94.3	97.4	103.3	94.9	97.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	脱水汚泥のリサイクル率100%を維持できている。	4
効率性	コストの節減	汚泥処分費の安価な施設であるセメント工場での処分ができています。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

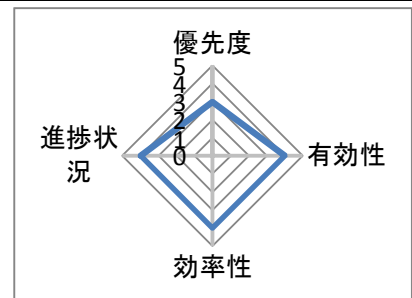
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	汚泥の有効活用。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102040500		事業の種類		2	
年度	25	事務事業名	雨水処理施設維持管理事業	予算事業名	雨水処理施設維持管理事業	優先度	4
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名 建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	松本好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	住民					
	誰(何)を対象として	住民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水区域内の住居等を浸水から守る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		雨水ポンプ場の適正な維持管理を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	ポンプ場修繕工事	式	1	1	1	1	
	し渣搬出業務委託	式	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.220	0.280	127	0.252	90	0.252	100	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	2,052,284	2,469,656	120	2,254,454	91	2,348,001	104	
	事業費	11,625,592	15,092,751	130	13,397,520	89	18,209,000	136	
	合計	13,677,876	17,562,407	128	15,651,974	89	20,557,001	131	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	13,397,520	-	18,209,000	136	
	一般財源	13,677,876	17,562,407	128	2,254,454	13	2,348,001	104	
	合計	13,677,876	17,562,407	128	15,651,974	89	20,557,001	131	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		浸水戸数							
指標説明(式)		排水区域内の浸水戸数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	16	124	775.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	豪雨時に排水区域内で浸水箇所があったが、概ねポンプ場の機能は発揮されていた。	5
効率性	手段の最適性	点検業務を適正に行うことにより、緊急時対応もできた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	長寿命化の検討が必要。	3

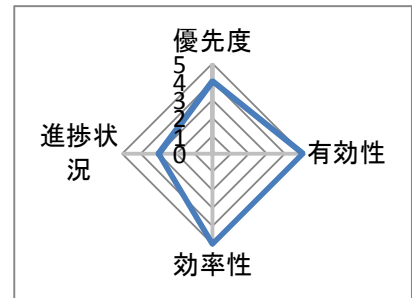
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	設備の老朽化。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	設備の更新が必要。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040600		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	下水道施設包括維持管理事業		予算事業名	下水道処理施設包括維持管理事業	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	松本好弘
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		公共下水道維持管理事業					
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	利用者及び市内企業					
	誰(何)を対象として	利用者及び市内企業					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生下水管理センターの運転及び維持管理事業を民間会社に委託し、コストの節減と、民間のノウハウを生かした水処理を適正に行った放流水により相生湾の水質を保全する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生下水管理センター及び汚水ポンプ場の運転・維持管理、修繕業務。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	包括委託	式	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.332	0.212	64	0.208	98	0.180	87	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	2,936,524	1,944,424	66	1,916,226	99	1,769,769	92	
	事業費	220,248,000	220,248,000	100	228,614,400	104	235,154,000	103	
	合計	223,184,524	222,192,424	100	230,530,626	104	236,923,769	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	223,184,524	209,018,880	94	228,614,400	109	235,154,000	103	
	一般財源	0	13,173,544	-	1,916,226	15	1,769,769	92	
合計	223,184,524	222,192,424	100	230,530,626	104	236,923,769	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		放流水質基準達成率							
指標説明(式)		要求水準達成日数/365日×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		電力量の節減							
指標説明(式)		各年度電力量/H21年度電力量×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	97	96	99.0	95	99.0	95	100.0	
	実績	98	95	96.9	95	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	委託業者の不断の努力により、要求水準どおりの放流水となっている。	5
効率性	コストの節減	委託業者の創意工夫により、電力使用量が前年度を維持出来た。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

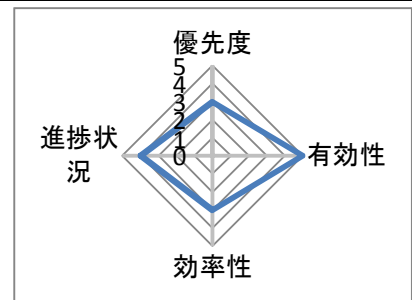
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	化学工場からの排水処理。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	化学工場・委託業者・市の三者協議が必要である。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040700		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	水酸化促進事業(下水)		予算事業名	水酸化促進事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名	松本好弘
取組み事項	公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市水洗便所等改造資金貸付条例、相生市水洗便所等改造資金助成金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境衛生の向上を図るため、汲み取り便所の水洗化及び排水設備の設置を促進する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		借入の申請を受理して、貸付の可否及び貸付額を決定し、市の工事検査に合格した後に貸付金を交付する。後、借受人から、償還期限までに元金及び利子を市に償還させる。また、生活保護受給者で水洗化を希望する世帯には工事費用を助成する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	改造資金貸付	件	1	1	1	1	
	改造資金助成	件	1	1	0	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.200	0.240	120	0.244	102	0.244	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,894,384	2,160,696	114	2,192,958	101	2,283,753	104	
	事業費	1,214,731	598,752	49	147	0	2,001,000	1,361,224	
	合計	3,109,115	2,759,448	89	2,193,105	79	4,284,753	195	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,076,038	252	0	147	58	2,001,000	1,361,224	
	一般財源	33,077	2,759,196	8,342	2,192,958	79	2,283,753	104	
合計	3,109,115	2,759,448	89	2,193,105	79	4,284,753	195		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		貸付件数							
指標説明(式)		貸付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	2	100.0	1	50.0	
	実績	1	0	0.0	0	-			
指標名2		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	1	33.3	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	0	0.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

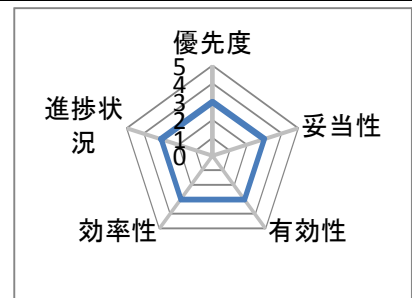
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請件数は予測以下であるが、制度の活用により水洗化が困難だった世帯へ早期の水洗化が可能となった。	3
	市民サービス	水洗化されることで周辺の住環境の改善や公共用水域の水質向上につながっている。	
効率性	執行体制の効率性	下水道接続により、周辺の住環境の改善による市民生活の向上や、使用料収入の確保による下水道経営の安定化など、多方面に良い効果を与えている	3
	執行体制の効率性	窓口で直接対面により本人確認の上受付処理をしており、公正さを確保している。また、口座振替による償還金の收受を行うことで効率性を向上させている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水洗化普及が進んだことで件数は減少しているが、貸付による支援を受けて水洗化を行いたいという需要に応える事業方針はおおむね満たしている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	未収金が発生している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	分割納付回数の柔軟な対応が必要である。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050200		事業の種類	1			
年度	25	事務事業名	賦課徴収事業(農集)		予算事業名	賦課徴収事業		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る			担当課長	水原 至		担当者名	松本好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設の設置並びに管理に関する条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の受益者							
	誰(何)を対象として	事業区域内の受益者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水処理施設使用料の徴収及び新規加入金を100%徴収する。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		排除汚水量を認定し、排水処理施設使用料を徴収する。 新規加入者に対して、加入金を徴収する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	徴収事務	式	1	1	1	1	
	新規加入	件	3	0	2	3	

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.148	0.208	141	0.160	77	0.172	108	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,483,844	1,913,528	129	1,547,250	81	1,705,521	110	
	事業費	3,312,246	3,312,960	100	3,305,106	100	3,471,000	105	
	合計	4,796,090	5,226,488	109	4,852,356	93	5,176,521	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,312,246	3,231,564	98	3,305,106	102	3,471,000	105	
	一般財源	1,483,844	1,994,924	134	1,547,250	78	1,705,521	110	
合計	4,796,090	5,226,488	109	4,852,356	93	5,176,521	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水処理施設使用料徴収件数							
指標説明(式)		徴収件数/徴収対象件数×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.79	98.08	99.3	98.27	100.2			
指標名2		排水処理施設使用料徴収金額							
指標説明(式)		徴収金額/徴収対象金額×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.72	98.64	99.9	98.89	100.3			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	使用料徴収について西播磨水道企業団に徴収事務委託をすることにより、徴収率の高率維持につながっている。	4
効率性	コストの節減	使用料徴収について西播磨水道企業団に徴収事務委託をすることにより、上水道使用料と一括徴収することができ、コストを節減している。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	徴収事業は目標に近い率を維持している。	4

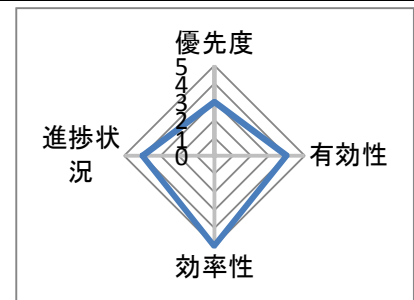
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	滞納者対策の検討が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	西播磨水道企業団との連携を密にし、更なる徴収率アップを図る。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102050300		事業の種類		1	
年度	25	事務事業名	排水設備管理事業(農集)	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	松本好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	排水設備指定工事店					
	意図(どのような状態にしたいのか)	確認審査及び検査を行うことにより、施工の均一性及び見積の適正化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		下水道排水設備指定工事店の指定を行い、排水設備工事の適正な施工を確保するため、事務連絡会を開催し、排水設備等の設置申請を確認し、排水設備等工事の完了検査を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	確認検査	件	25	10	4	20	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.152	0.212	139	0.124	58	0.124	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,515,424	1,944,424	128	1,270,518	65	1,320,033	104	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	1,515,424	1,944,424	128	1,270,518	65	1,320,033	104	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	1,515,424	1,944,424	128	1,270,518	65	1,320,033	104	
	合計	1,515,424	1,944,424	128	1,270,518	65	1,320,033	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水設備件数							
指標説明(式)		排水設備件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	13	20	153.8	20	100.0	20	100.0	
	実績	25	10	40.0	4	40.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		排水設備確認審査・検査コスト							
指標説明(式)		当該年度支出額／排水設備確認審査・検査件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	60,617	194,442	320.8	317629	163.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	排水設備工事の品質向上がみられた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	概ね基準どおり施工されている。	
効率性	コストの節減	概ね現状維持。	3
	執行体制の効率性	概ね現状維持。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	3

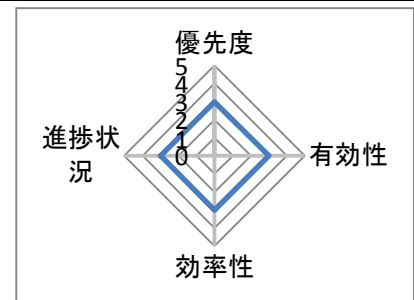
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施工監理に向上の余地がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	確認申請時及び完了検査時の指導を徹底する。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102050400		事業の種類		2	
年度	25	事務事業名	農業集落排水施設維持管理事業	予算事業名	農業集落排水施設維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	松本好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名		農業集落排水維持管理事業					
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設の設置並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	参加市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水施設等を適正に維持管理運営し、公共用水域を保全する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等処理施設の維持管理業務。濃縮汚泥の運搬。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	維持修繕工事	件	9	10	10	10	
	施設の維持管理委託	件	1	1	1	1	
	汚泥運搬業務	m ³	3,363	3,439	3439	3300	
	管渠等の清掃	m	1,600	2,017	2001	2000	

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.308	0.228	74	0.224	98	0.236	105	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	2,747,044	2,068,008	75	2,039,218	99	2,219,505	109	
	事業費	67,138,857	65,775,943	98	70,144,232	107	73,492,000	105	
	合計	69,885,901	67,843,951	97	72,183,450	106	75,711,505	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	69,885,901	65,763,898	94	70,144,232	107	73,492,000	105	
	一般財源	0	2,080,053	-	2,039,218	98	2,219,505	109	
合計	69,885,901	67,843,951	97	72,183,450	106	75,711,505	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排出汚泥のリサイクル率							
指標説明(式)		リサイクル処理施設への搬出量/濃縮汚泥搬出量×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		汚泥排出量							
指標説明(式)		濃縮汚泥搬出量／処理水量×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0.68	0.68	100.0	0.68	100.0	0.68	100.0	
	実績	0.72	0.76	105.6	0.76	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	濃縮汚泥は、下水管理センターで公共下水道の汚泥と混合し、脱水汚泥としてリサイクル施設へ搬出している。	5
効率性	手段の最適性	汚泥排出量を適正に行うことにより水質を維持している。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

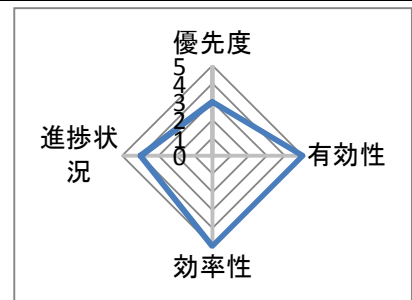
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102050500		事業の種類		2	
年度	25	事務事業名	個別排水処理施設維持管理事業	予算事業名	個別排水処理施設維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	松本好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益者					
	誰(何)を対象として	受益者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	戸別合併処理浄化槽を適正に管理し、公共用水域の水質を保全する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		浄化槽維持管理業者に清掃点検業務を委託する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	浄化槽維持管理委託	基	14	14	14	14	

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.104	0.064	62	0.080	125	0.100	125	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,136,464	801,272	71	932,290	116	1,127,289	121	
	事業費	798,600	717,330	90	783,510	109	877,000	112	
	合計	1,935,064	1,518,602	78	1,715,800	113	2,004,289	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	798,600	357,380	45	783,510	219	877,000	112	
	一般財源	1,136,464	1,161,222	102	932,290	80	1,127,289	121	
合計	1,935,064	1,518,602	78	1,715,800	113	2,004,289	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水質基準							
指標説明(式)		浄化槽水質基準適合数/浄化槽数×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	全ての浄化槽において、水質基準が満たされていた。	3
効率性	手段の最適性	専門的資格のある浄化槽維持管理業者により適正に清掃点検がされている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通り。	4

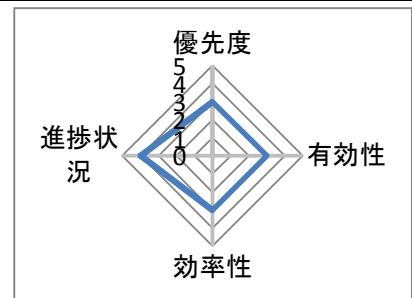
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050600		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	水洗化促進事業(農集)		予算事業名	水洗化促進事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名	松本好弘
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市水洗便所等改造資金貸付条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民						
	誰(何)を対象として	参加市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境衛生の向上を図るため、くみ取り便所の水洗化及び排水設備の設置を促進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		借入の申請を受理して、貸付の可否及び貸付額を決定し、市町の工事検査に合格した後に貸付金を交付する。後、借受人から、償還期限までに元金及び利子を市に償還させる。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	改造資金貸付	件	0	0	0	1	

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.108	129	0.108	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	978,564	955,752	98	1,147,526	120	1,191,537	104	
	事業費	105	0	0	0	-	701,000	-	
	合計	978,669	955,752	98	1,147,526	120	1,892,537	165	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	105		0		-	701,000	-	
	一般財源	978,564	955,752	98	1,147,526	120	1,191,537	104	
合計	978,669	955,752	98	1,147,526	120	1,892,537	165		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		貸付件数							
指標説明(式)		貸付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

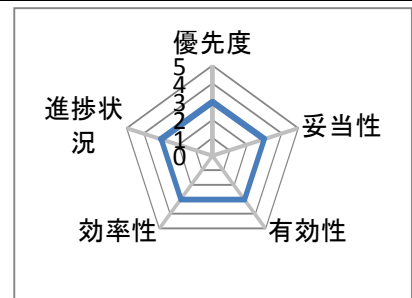
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	水洗化普及がすすんだことで件数は減少傾向にあり、本年度は申請がないが、資金的な負担を軽減して水洗化を促進する成果はあげている。	3
	市民サービス	水洗化されることで周辺の住環境の改善や公共水域の水質向上につながっている。	
効率性	手段の最適性	農業集落排水等への接続により、周辺の住環境の改善による市民生活の向上や、使用料収入の確保による特別会計経営の安定化など、多方面に良い効果を与えている。	3
	執行体制の効率性	窓口で直接対面により本人確認の上受付処理をしており、公正さを確保している。また、口座振替による償還金の收受を行うことで、効率性を向上させている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水洗化普及がすすんだことで件数は減少しているが、貸付による支援を受けて水洗化を行いたいという需要に応える事業方針はおおむね満たしている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	未収金が発生している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	分割納付回数等の柔軟な対応が必要である。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010100		事業の種類	2	
年度	25	事務事業名	港湾管理事業		予算事業名	港湾管理事業	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	高田 雅仁	担当者名	片山 和彦
取組み事項		港湾を整備し、有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		港湾法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	港湾樋門の管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	港湾樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	点検件数	件	25	25	24	24	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.084	350	0.084	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	504,864	492,312	98	963,038	196	998,793	104	
	事業費	718,400	827,056	115	771,210	93	793,000	103	
	合計	1,223,264	1,319,368	108	1,734,248	131	1,791,793	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,223,264	1,319,368	108	1,734,248	131	1,791,793	103	
合計	1,223,264	1,319,368	108	1,734,248	131	1,791,793	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		樋門点検件数の増減							
指標説明(式)		樋門点検件数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	25	25	100.0	25	100.0	24	96.0	
	実績	25	25	100.0	24	96.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	12.5	1	8.0	1	100.0	0.5	50.0	
	実績	12.5	0.53	4.2	0.15	28.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	4
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

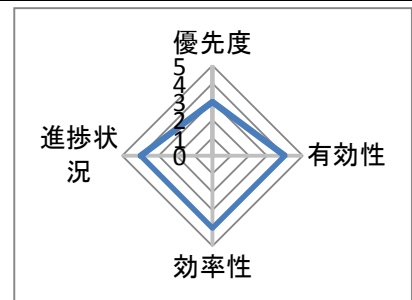
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010200	事業の種類	2
年度	25	事務事業名	ポンプ場管理事業(港湾)	予算事業名	ポンプ場管理事業
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	高田 雅仁	担当者名
取組み事項	港湾を整備し、有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規	港湾法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	旭ポンプ場の管理			
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	県との協定に基づいて、旭排水ポンプ場の施設管理を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	操作件数	件	122	112	94	100

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104
	参事以下職員	0.136	0.138	101	0.198	143	0.198	100
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-
支出内訳	人件費	1,389,104	1,372,848	99	1,839,356	134	1,914,327	104
	事業費	1,309,896	1,284,709	98	1,403,515	109	1,635,000	116
	合計	2,699,000	2,657,557	98	3,242,871	122	3,549,327	109
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金	1,500,000	1,500,000	100		0		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	1,199,000	1,157,557	97	3,242,871	280	3,549,327	109
	合計	2,699,000	2,657,557	98	3,242,871	122	3,549,327	109

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	ポンプ操作件数の増減								
指標説明(式)	ポンプ操作件数の増減								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	122	112	91.8	94	83.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		操作件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.53	0.5	94.3	0.5	100.0	0.26	52.0	
	実績	0.45	0.42	93.3	0.25	59.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

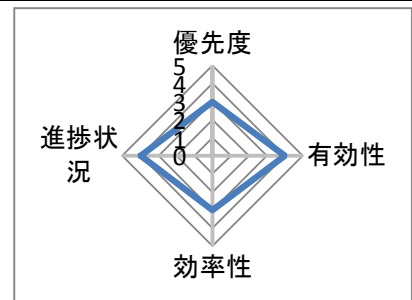
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010300	事業の種類	2		
年度	25	事務事業名	海岸美化対策事業	予算事業名	海岸美化対策事業	優先度	4
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	高田 雅仁	担当者名	栗谷 崇
取組み事項		港湾を整備し、有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		海岸美化対策事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	相生湾の一斉清掃 (相生湾に浮遊または海岸に放置されたゴミの除去)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	海岸の環境保全とゴミのポイ捨て防止の啓発を図り、もって、市民が快適に暮らせる街づくりを図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市・市民ボランティア・関西電力・IHI・漁協等と組み、一斉に相生湾の清掃活動(リフレッシュ瀬戸内)を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	活動回数	回	1	0			
	回収ゴミ(可燃)	kg	2710	0	2010	2000	
	回収ゴミ(不燃)	kg	1080	0	1030	1000	
	回収ゴミ(汚泥)	kg	0	0			

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.050	0.050	100	0.080	160	0.080	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	710,134	693,136	98	932,290	135	966,669	104	
	事業費	2,126,862	1,830,605	86	1,734,965	95	2,208,000	127	
	合計	2,836,996	2,523,741	89	2,667,255	106	3,174,669	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,836,996	2,523,741	89	2,667,255	106	3,174,669	119	
合計	2,836,996	2,523,741	89	2,667,255	106	3,174,669	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	450	450	100.0	450	100.0	450	100.0	
	実績	373	0	0.0	450	-			
指標名2		一人あたりのゴミ回収量							
指標説明(式)		(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥) / 参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
kg	目標	8.6	10	116.3	10	100.0		0.0	
	実績	10.16	0	0.0		-			

【効率性】

指標名1		活動事業費の増減							
指標説明(式)		活動事業費の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	102000	102000	100.0	102000	100.0	108000	105.9	
	実績	92912	99055	106.6	99250	100.2			
指標名2		ゴミ1kgあたりの回収コスト							
指標説明(式)		支出合計額/(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年1回の実施ではあるが、毎年約4tものゴミを収集し分別しており、相生湾の環境保全に有効に寄与している。	4
	組織運営・適正管理	市単独ではなく、相生湾沿岸の企業や漁協、市民ボランティアの協力を得ることで、海岸美化の啓発に有効に寄与する。	
効率性	コストの節減	“ゴミ1kgあたりの回収コスト”は減じている。	3
	執行体制の効率性	現在、年1回の取り組みであるため、建設経済部が総じて中心的役割をはたしている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

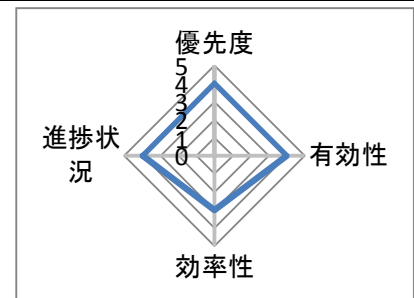
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市民ボランティアの参加人数の向上を図ること。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	「リフレッシュ瀬戸内」参加者の拡大を図り、相生湾の環境美化の促進を図る。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010500	事業の種類	6
年度	25	事務事業名	港湾整備事業(県事業)	予算事業名	港湾整備事業(県事業) 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する	担当課長	高田 雅仁	担当者名 片山 和彦
取組み事項		港湾を整備し、有効活用を図る	実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名		港湾施設改良事業			
根拠法規及び関連法規		港湾法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	鰯浜地区住民			
	誰(何)を対象として	相生港鰯浜地区			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生港の多彩な空間を利用			

2 事業の概要 Do

実施の概要		埋立工 V=130,000m ³ 地盤改良 A=3,500m ³				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	工事内容		造成盛土 V=8,500m ³	臨交道路L=300m	臨交道路L=29m	臨交道路L=227m

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.554	0.553	100	0.237	43	0.237	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	4,689,214	4,578,308	98	2,139,149	47	2,227,536	104	
	事業費	3,495,000	1,350,000	39	450,000	33	1,500,000	333	
	合計	8,184,214	5,928,308	72	2,589,149	44	3,727,536	144	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,184,214	5,928,308	72	2,589,149	44	3,727,536	144	
合計	8,184,214	5,928,308	72	2,589,149	44	3,727,536	144		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性		県事業推進に際して詳細な部分で市民ニーズとの調整を図っている。	4
効率性		事業費の二重投資等が防止出来ている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

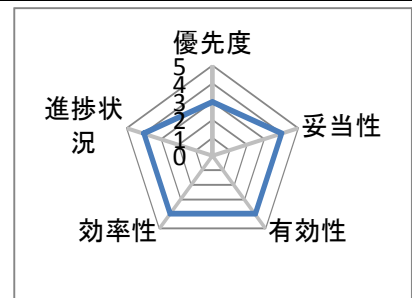
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020100		事業の種類	6	
年度	25	事務事業名	市内一円河川等改修事業		予算事業名	河川等改修事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	高田 雅仁		担当者名	宮崎 晃
取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名	河川整備事業						
根拠法規及び関連法規	河川法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市が管理する河川					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地位住民を水害から守り、安全で心地よい生活ができる					

2 事業の概要 Do

実施の概要	未整備及び老朽箇所の整備計画を立て整備すること。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	準用河川改修工事	m	49	44	43	0
	普通河川改修工事	m	0	43	110	250

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.500	0.512	102	0.194	38	0.194	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	4,262,884	4,261,624	100	1,808,608	42	1,882,203	104	
	事業費	7,083,350	10,393,150	147	14,954,450	144	15,350,000	103	
	合計	11,346,234	14,654,774	129	16,763,058	114	17,232,203	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	11,346,234	14,654,774	129	16,763,058	114	17,232,203	103	
合計	11,346,234	14,654,774	129	16,763,058	114	17,232,203	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	工事の実施率								
指標説明(式)	工事実施件数 ÷ 工事計画件数 × 100								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		年度内予算執行率							
指標説明(式)		年度内執行額 ÷ 年度内予算額 × 100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	防災に配慮した魅力ある河川の整備を図っている。	4
効率性	コストの節減	競争入札を導入し、業者間の競争意識を高めコスト縮減を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

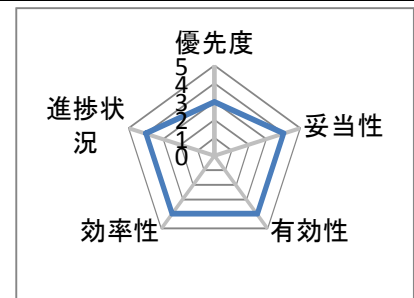
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コスト縮減によりコストパフォーマンスを高める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	河川管理者として、市民の安全・快適な生活を確保するため維持しなければならない



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020200		事業の種類	2	
年度	25	事務事業名	河川管理事業		予算事業名	河川管理事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	高田 雅仁		担当者名	片山 和彦
取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名	河川環境美化整備						
根拠法規及び関連法規	河川法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	河川樋門の管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	河川樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	点検件数	件	37	37	37	37
	報償金の額	円	111000	111000	111000	111000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104
	参事以下職員	0.026	0.026	100	0.098	377	0.098	100
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-
支出内訳	人件費	520,654	507,760	98	1,070,656	211	1,111,227	104
	事業費	15,022,974	15,049,998	100	15,050,400	100	17,217,000	114
	合計	15,543,628	15,557,758	100	16,121,056	104	18,328,227	114
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	15,543,628	15,557,758	100	16,121,056	104	18,328,227	114
合計	15,543,628	15,557,758	100	16,121,056	104	18,328,227	114	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	樋門点検件数の増減								
指標説明(式)	樋門点検件数の増減								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	37	37	100.0	37	100.0	37	100.0	
	実績	37	37	100.0	37	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×主幹以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.7	0.7	100.0	0.7	100.0	0.5	71.4	
	実績	0.71	0.73	102.8	0.19	26.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	4

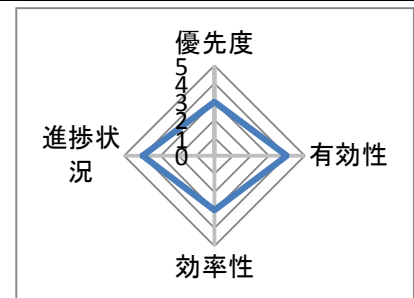
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020300	事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	河川愛護事業	予算事業名	河川愛護事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	高田 雅仁	担当者名	栗谷 崇
取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規	なし					
事業の目的	誰のために(具体的に)	河川底の土砂水草除去や護岸の草刈やしゅんせつ等を実施した自治会				
	誰(何)を対象として	河川愛護事業報奨金の支出				
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民に河川の清掃活動に参加してもらうことで、河川を大切にしようとする心を育み、直接的・間接的に河川美化を促すとともに、自治会活動を強化し地域住民の連携を図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		河川愛護事業を実施した自治会に対し、参加人数・実施時間・作業距離に応じて報奨金を支出する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	実施した自治会数	件	16	16	17	17
	報償金の額	円	344400	359200	359200	359200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.180	180	0.180	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,104,884	1,079,336	98	1,700,990	158	1,769,769	104	
	事業費	344,400	359,200	104	359,200	100	360,000	100	
	合計	1,449,284	1,438,536	99	2,060,190	143	2,129,769	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,449,284	1,438,536	99	2,060,190	143	2,129,769	103	
合計	1,449,284	1,438,536	99	2,060,190	143	2,129,769	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実施した自治会数の増減							
指標説明(式)		実施した自治会数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	16	16	100.0	16	100.0	17	106.3	
	実績	16	16	100.0	17	106.3			
指標名2		報奨金の額の増減							
指標説明(式)		報奨金の額の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	360000	360000	100.0	360000	100.0	360000	100.0	
	実績	344400	359200	104.3	359200	100.0			

【効率性】

指標名1		1件あたりの報償金の額							
指標説明(式)		報償金の額／実施した自治会数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
金	目標	22500	22500	100.0	22500	100.0	21176	94.1	
	実績	21525	22450	104.3	21129	94.1			

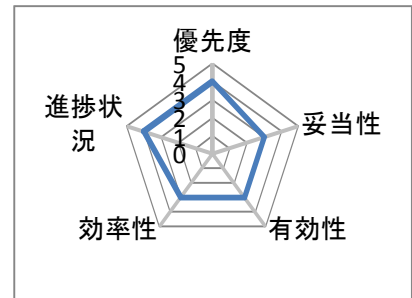
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	実施自治会がおおよそ限られており、河川流域にありながら実施していない自治会もある。	3
	上位施策への貢献度	住民自ら清掃に携わることで、単に河川の美化清掃の実施に止まらず、ゴミのポイ捨て等を防止させる効果が期待できる。また自治会活動の強化による住民間の連携強化も期待できる。	
効率性	コストの節減	1件あたりの報償金の額は、やや減少傾向にある。	3
	手段の最適性	実施回数は各自治会とも年1回程度と、実施頻度が低い。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	実施自治会が概ね限られており、河川流域の全体的な実施には至っていない。また、実施回数も各自治会年1回程度でしかない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	実施自治会並びに実施回数の増加。

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020400		事業の種類	3		
年度	25	事務事業名	ポンプ場管理事業(河川)		予算事業名	ポンプ場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	高田 雅仁	担当者名	片山 和彦	
取組み事項		河川を整備する		実施計画への記載	主要事業の指定			
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		河川法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	大谷川排水機場の管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		県との協定に基づいて、大谷川排水機場の施設管理を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	操作件数	件	0	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.110	0.110	100	0.172	156	0.172	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,183,834	1,156,576	98	1,639,494	142	1,705,521	104	
	事業費	2,422,222	2,566,976	106	3,102,229	121	3,952,000	127	
	合計	3,606,056	3,723,552	103	4,741,723	127	5,657,521	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,892,400		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	-286,344	3,723,552	-1,300	4,741,723	127	5,657,521	119	
合計	3,606,056	3,723,552	103	4,741,723	127	5,657,521	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポンプ操作件数の増減							
指標説明(式)		ポンプ操作件数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

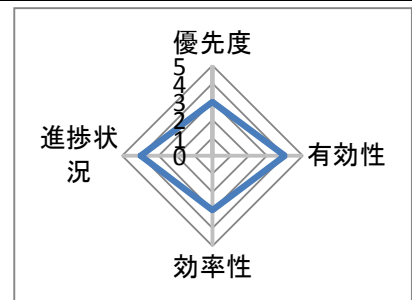
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104010100		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	景観形成事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	高田雅仁	担当者名	國重・古川	
取組み事項	特性を活かす景観をつくる		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	建築物、構造物等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	景観に対する意識の向上を促し良好な景観形成を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		優れた景観を創造し、又は保全するため県の「景観の形成等に関する条例」に基づく景観誘導。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.136	0.136	100	0.136	100	0.196	144	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,389,104	1,357,400	98	1,362,762	100	1,898,265	139	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	1,389,104	1,357,400	98	1,362,762	100	1,898,265	139	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	1,389,104	1,357,400	98	1,362,762	100	1,898,265	139	
合計	1,389,104	1,357,400	98	1,362,762	100	1,898,265	139		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

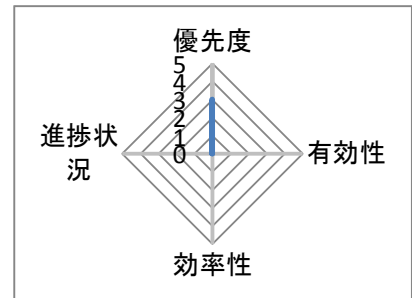
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	景観行政そのものが緩やかな行政指導であり、短時間で目に見える効果が上がりにくい。	
効率性	コストの節減	普及啓発活動として県が作成したパンフレット等の配布	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	県の景観条例により大規模な建築物、工作物については指導基準に基づいて審査されているが、審査対象物が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市民に対して有効な普及啓発活動の方法を検討する。

配点	25
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104020100		事業の種類	2		
年度	25	事務事業名	公園施設維持管理事業		予算事業名	公園施設維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	高田 雅仁	担当者名	宮崎 晃	
取組み事項		公園、緑地を整備する		実施計画への記載	主要事業の指定			
実施計画事業名		都市公園整備事業		都市公園維持修繕事業				
		中央公園テニスコート芝張替修繕						
根拠法規及び関連法規		公園法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	公園の委託による維持管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市公園等の健全な発達を図り、公共の福祉に資する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		公園の維持管理を委託することで、公園の整備充実を図っていく。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	公園の管理箇所数	箇所	31	31	33	34	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.300	0.300	100	0.336	112	0.336	100	
	臨時職員	0.300	0.300	100	0.300	100	0.300	100	
支出内訳	人件費	3,387,984	3,345,036	99	3,632,462	109	3,780,705	104	
	事業費	30,336,570	30,386,097	100	31,468,419	104	37,076,000	118	
	合計	33,724,554	33,731,133	100	35,100,881	104	40,856,705	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	33,724,554	33,731,133	100	35,100,881	104	40,856,705	116	
合計	33,724,554	33,731,133	100	35,100,881	104	40,856,705	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公園1箇所あたりの維持管理コスト							
指標説明(式)		維持管理費/管理公園数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	1000000	1000000	100.0	1000000	100.0	1090470	109.0	
	実績	979000	980197	100.1	953588	97.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

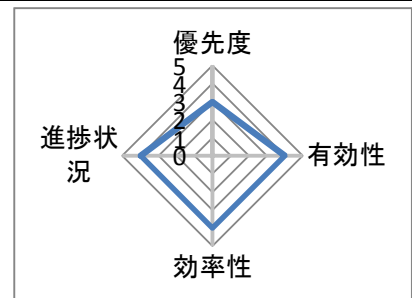
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住民が気持ちよく施設を利用できるように清潔に維持されます。	4
	期待する目標	災害時の避難地にも指定されていることから、日頃の維持管理が必要。	
効率性	コストの節減	みんなで地域を守るという観点からも、地域住民への協力による維持管理の必要性があると思われる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり事業が進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	地域住民の高齢化にともない、市が直接維持管理する公園が増加傾向にある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	地域住民の高齢化にともない、市が直接維持管理する公園が増加傾向にある。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104030100		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	緑化推進事業		予算事業名	緑化推進事業	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する			担当課長	三宅 淳一	
取組み事項		緑化を推進する			実施計画への記載	無	
実施計画事業名					担当者名	藤岡 周平	
根拠法規及び関連法規					主要事業の指定	無	
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民にうるおいとやすらぎを与える、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民の緑化に対する関心を高め緑化普及、啓発を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市花と緑の協会に委託し、市内のフラワーポット、花壇の維持管理、栽培用の苗木の配布を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	講習会開催回数	回	3	3	3	3	
	市内花苗植栽数	株	5380	5771	5518	6000	
	まちなみガーデン庭	個所	52	53	49	52	
	つばき園の清掃回数	回	4	4	4	4	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.356	0.360	101	0.360	100	0.232	64	
	臨時職員	0.130	0.072	55	0.072	100	0.280	389	
支出内訳	人件費	3,431,114	3,260,592	95	3,260,402	100	2,894,941	89	
	事業費	1,455,120	1,455,560	100	1,460,680	100	1,461,000	100	
	合計	4,886,234	4,716,152	97	4,721,082	100	4,355,941	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,886,234	4,716,152	97	4,721,082	100	4,355,941	92	
	合計	4,886,234	4,716,152	97	4,721,082	100	4,355,941	92	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ガーデニング講習会開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		市内プランター・花壇に植栽した花苗数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	5600	5600	100.0	5600	100.0		0.0	
	実績	5409	5771	106.7	5518	95.6			

【効率性】

指標名1		事業費に係る花苗購入費の割合							
指標説明(式)		花苗購入費÷事業費							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	26	26	100.0	27	103.8	27	100.0	
	実績	26	27	103.8	26	96.3			
指標名2		まちなみガーデンの開催にかかる参加者1人あたりの経費							
指標説明(式)		まちなみガーデンの開催費/参加数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	3403	3600	105.8	3500	97.2	4000	114.3	
	実績	3605	3667	101.7	4131	112.7			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標としていた若年世代を対象とした、ガーデニング講習を開催し、多くの小学生の参加を得た。	4
	市民サービス	時代の流れに常に対応した、花苗の配布や講習会の開催が不可欠である。	
効率性	執行体制の効率性	市内に設置している花壇、プランターの一部に、高齢化により管理が困難な場所が、発生してきている。	3
	手段の最適性	これまで、花と緑の協会だけに委託してきたが、より柔軟な事業体制を検討する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	まちなみガーデンの参加庭数が、減少してきている。	2

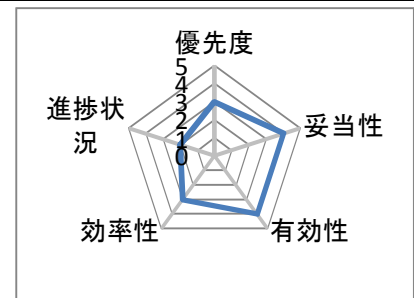
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	管理していけず、閉鎖するプランターがあった。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	都市緑化について、県事業を活用し、市負担割合を軽減する。



配点	32.5
総合評価	21